

國學院大學 文学部

入試ガイドブック

2023



KOKUGAKUIN LIFE

國學院大學

もっと日本を。もっと世界へ。



◆ 日本文学科

◇ 中国文学科

◆ 外国語文化学科

◇ 史学科

◆ 哲学科

文学部

organization chart

日本文学科

外国語
文化学科

哲学科

史学科

中国文学科

教職課程

文学部の学士課程教育3ポリシー — P 2

文学部長 挨拶 — P 3

文学部FAQ — P 4

学科紹介

- 日本文学科 — P 6
- 中国文学科 — P12
- 外国語文化学科 — P18
- 史学科 — P24
- 哲学科 — P30

うちの学科のここが魅力 — P36

うちの学科のすてきな先生 — P41

教職課程 — P42

様々な分野で活躍する卒業生 — P45

各種資格 — P46

大学院 — P48

就職・進学の実績 — P50

留学・国際交流 — P52

奨学金制度 — P54

ボランティア・学内ワークスタディ — P55

文学部WEB情報一覧 — P56

文学部の学士課程教育3ポリシー

○ 卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、日本ならびに諸外国の文化を深く理解し、日本文化を世界に発信するための知識と技能を身につけた学生に対して、卒業を認定するとともに、学士課程の学位を授与します。

文学部の5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）は、文学部全体の方針を具体化した卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を定めています。

○ 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）で示した能力と態度を身につけるために、全学的な共通教育プログラムの学修を前提として、5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）が専門教育科目を編成し、それらの系統的な履修によって教育目標を達成します。

○ 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

文学部は、日本や外国の言語・文化・思想・歴史に対して強い興味をもち、5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）が扱うそれぞれの学問領域に関して、主体的な姿勢で学修に取り組むことのできる学生を受け入れます。



文学部の学びは、

國學院大學は、日本で最も古い私立大学8校のうちの1つです。明治維新以来、多くの大学が「西洋の進んだ政治や文化」の教育普及や研究を目指して設立されたのに対し、國學院大學は「国史・国文・国法」すなわち日本の政治・文化の伝統を探究し、諸外国との関係性について考究する大学としてスタートしました。日本文学科、中国文学科、外国語文化学科、史学科、哲学科という5つの学科からなる文学部は、長きに渡り、國學院大學の学問研究の中核を担ってきました。



近年、「文学部不要論」なる言説をまま見かけます。新型コロナウイルスという世界的な脅威と対峙している現在、文学部を目指すことに少なからぬ無力感を感じることもあるでしょう。我々はワクチンを作り出すことはできず、医療の現場で闘うこともできない。

しかし私は、文学部の学問は人間社会に不可欠だと思っています。それは、文学部の各学科は、以下のような「問い」を探究していると考えます。

「なぜ、人間は生きるのか」「どのように、人間は生きるべきなのか」

そうした人間の存在に対する根本的な問いについて考える。それが、文学部の使命です。その答えは簡単に求められるものではありませんが、「考える方法」を学ぶのが大学であり、それを身につけることができれば、深い問いについて一生考え続けることができるのです。

文学部による研究成果はさまざまな形で社会に還元され、人々の生活を精神的に豊かにしています。幼い頃に聞いたおとぎ話や昔話、通学の行き帰りなどに読んださまざまな本。他人との会話や文字によるコミュニケーション、映画や音楽、絵画などから得た感動。それらが私たちの生活に不可欠だとするならば、文学部はやはり不要ではないでしょう。

國學院大學文学部では、最先端の研究を行っている数多くの教員と、たくさんの授業があなた方を待っています。国語・社会・英語などの教員免許や博物館学芸員資格、図書館司書資格などの資格課程も充実しており、大学院進学之道も開かれています。入学してから、すぐに将来のことを考えた学びをスタートさせることができます。

同時に、学会や研究会、部活動やサークルなどにも、積極的に参加すると良いでしょう。学問は大学生の本分ですが、4年間という貴重な時間をさらに実りあるものにするため、さまざまなことに挑戦する「向上心」と「覚悟」を持ってもらいたと思います。

文学部長 矢部 健太郎

一生役立つ。

Q1 古事記に関心があります。古事記やその時代について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■日本文学科の回答

P9

『古事記』は日本文学の原点と言える作品です。『古事記』に記された神話・物語の中には多くの神や人が登場し、その生と死、恋と戦いなどが表現豊かに描かれています。そこには神や人の美しさ、はかなさ、ずるさ、醜さ、愚かさを見て取ることが出来ます。他の分野では、『古事記』は古代の歴史や民俗、信仰を知るための史料として読まれることがありますが、日本文学科では、『古事記』という文学作品そのものが研究対象となります。そこに描かれた悲喜劇を読解し、その後の文学に与えた影響を、表記史、表現史の中に位置付けながら考えていきます。そして、まだ十分に解明されていない『古事記』の世界観についての検討を行っています。

■史学科の回答

P28

史学科の専門科目には『古事記』そのものをテーマにした授業はありません。古事記は現存する日本最古の歴史書と言われますが、上巻・中巻の内容は神話の伝承です。国の始まりや天皇家の由来などたいへん重要な内容が書かれていますが、登場人物の実在性を含めて史実と考えることはできません。ですから、古事記それ自体を根拠史料として歴史の研究はできないわけです。しかし、下巻に記述された5世紀から6世紀頃の倭は古墳時代にあたり、古代国家が形成されていくプロセスを考古学的に研究することは可能です。『考古学各論』V～VIIIなどの授業で、古墳時代の倭の政治や文化を考古遺物や遺跡から実証的に学ぶことができます。

Q2 ギリシア神話に関心があります。ギリシア神話について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■史学科の回答

P28

ギリシア神話は古事記のようなまとまった原典はありません。ホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』をはじめとしたさまざまな作品に言及されているさまざまな物語の集合体がギリシア神話であり、世に言うギリシア神話は著者が自らの解釈でまとめたものに過ぎません。したがって、史学科においてギリシア神話、あるいは神話を直接の対象として勉強することはできないでしょう。しかしギリシア宗教を勉強する一環として神話を題材にすることは可能と思われます。その場合は、神話がポリスの政治や社会あるいは生活にどのように取り入れられ、働きかけたのかといった観点から神話を扱うことになるでしょう。

■哲学科の回答

P34

ギリシア神話について、哲学科では多様な視点から幅広く学ぶことができます。まず哲学・倫理学コースでは、例えば神話の死生観、神話から哲学への展開、プラトン対話篇に神話が描かれたのは何故かなど、古代ギリシア哲学研究の一環としての様々なアプローチが可能です。また神話学を、ユング心理学やリクール解釈学など、現代哲学の観点から研究するのも面白いかもしれません。さらに、美学・芸術学コースでは、ギリシア神話を描いた西洋絵画を読み解き、その図像学的伝統を辿ることで画家の表現の深層に迫ることができ、大変興味深いです。どちらのコースに所属しても、テーマは横断的ですし、両コースの関連授業を受講することをお勧めします。

Q3 中国語や中国の文化に関心があります。中国語や中国の文化について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■中国文学科の回答

P15

中国文学科では、中国語の学習とあわせて、中国古典を漢文訓読によって読み、古代から現代に至る中国の学術の総合的な理解を目指します。中国語については、学科の専門「演習」科目として、基礎からじっくりと学び、実力を錬成します。また、大学の制度として、3種類の中国語圏での留学制度がありますが、中国文学科では留学参加を強く勧めています。特に「セメスター留学」(約5・6か月間の現地学修)については、中国文学科独自に、カリキュラムの中に位置付けており(2年次参加が標準。中国語教養プログラム選択者は必修、他プログラム選択者は任意)、毎年多数の参加者があります。多くの先輩が積極的に学んで実力をつけ、卒業しています。

■外国語文化学科の回答

P22

外国語文化学科で中国語を学ぶ利点は「中国語と英語を同時に学べる」という点です。2言語をマスターすれば就職にも圧倒的に有利です。毎年、多くの卒業生が外国語力を生かして就職しています。1～2年次には、ネイティブと留学経験のある日本人教員のもとで、会話を主体とした実践的な中国語を基礎から学びます。3年次には、現地のテレビ・映画・新聞の中国語にチャレンジするほか、視野を広げて中国の社会・文化・歴史・伝統についても学びます。文法や単語の習得にも力を入れ、中国語検定2級程度の中国語力を目指します。希望すれば中国・台湾への短期留学・セメスター留学、さらには1年間の長期留学を目指す学生も少なくありません。

Q4 表象文化に興味があります。どのようなアプローチの方法がありますか？

■哲学科の回答

P34

哲学科には「美学・芸術学コース」があり、芸術分野を理論的にとらえる芸術学、作品や作者などを歴史的な観点から検証する美術史など、幅広く学ぶことができます。絵画や工芸のほか、映像や音楽、コミックスなど様々な表象文化に興味を持つ学生が集まり、発表やディスカッションを介して見つけた自身の研究テーマに、積極的に取り組んでいます。基礎的な演習から専門的な特殊講義まで、授業のラインナップも豊かです。1、2年時には西洋美術史、日本美術史ほか芸術の諸分野を広く学んだ後、自身のテーマを深め、その成果を卒業論文にまとめます。なお、大学院文学研究科史学専攻に美学・美術史コースが置かれていますので、より深く研究を！と思う方に興味を持って頂けたら幸いです。

■外国語文化学科の回答

P22

外国語文化学科では、英語と第二外国語(独・仏・中のいずれか)を学習すると共に、その国や地域の文化も学びます。文化とは、文学や芸術はもちろん、歴史、政治、経済、教育、料理、サブカルチャーなど様々な領域を含みます。四年間を通じて学び続ける確かな外国語能力を活かし、興味のある分野について自由に探究することが可能です。卒業論文では、多くの学生が、映画や音楽、BD(フランスの漫画)など、言語情報とその隣接領域にまたがるテーマを選びます。日本文化との比較研究が多いのも特徴です。外国文化に関わるものであれば、どのようなテーマを選んでも教員が手厚くサポートしますが、学生にも自ら積極的に研究方法を見つける姿勢が求められます。

Q5 教職について教えてください。どのような学習や体験ができるのでしょうか？

■日本文学科の回答

P11

日本文学科での学修は全て教職に活かします。中学校・高等学校の教員免許を取得することができ、三専攻・四領域のいずれも国語科授業の内容になります。例えば、日本文学専攻では、和歌や『源氏物語』・『平家物語』・『おくのほそ道』、「羅生門」「こころ」などについて詳しく語れるようになりますし、日本語学専攻では、古典文法に精通したり、日本語の豊かさを改めて実感したり、日本語を母語としない生徒への指導を研究したりできます。また、伝承文学専攻では、「総合的な学習の時間」などにも活かせる、民俗学・口承文芸の研究などができます。さらに、書道・図書館学・国語教育学・日本語教育学の領域があり、多くの卒業生が学校現場で活躍しています。

■中国文学科の回答

P17

中国文学科では、所定の単位を修得した後に、中学校・高等学校の(国語科)教員免許を取得できます。1年次前期から始まる「中国古典読法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の授業を通して漢文訓読能力を育成し、「論語演習」・「唐宋詩文演習」などの演習科目を通して作品理解を深めます。さらに副専攻プログラム「古典教育研究」を活用して高校の古典(古文・漢文)分野の教材をより詳しく学べます。4つのプログラムの中で「文学研究プログラム」は教職や大学院進学を目指す学生に対応しており、その専門性を高めるため大学院に進学し、修了後、教員になる人もいます。これらの利点を活かして古典、特に漢文に強い国語教員になることが望めます。

Q6 まだ先の話ですが、大学院への進学に興味があります。どのような学びの場なのでしょうか？

■日本文学科の回答

P48

大学院は学部で学び、自分で発見した課題研究を深める場です。「何が学べるか」という受身の姿勢ではなく、奥深い研究に向かって分析力を高め、自分なりの仮説や理論を追求していきます。大学院ではいくつもの講義から幅広い知識を身につけ、さまざまな研究法を学び、「演習」という科目で自分の研究発表を行って批判をうけます。大学院生同士の議論も研究の進展につながります。文学専攻では日本文学、日本語学、中国文学、伝承文学と高度国語教育、日本語教育というコースと分野があり、自分の課題に従ってどこかのコースに所属し、研究を深め、明日の文学研究を担う研究者や修得した知識や方法で社会貢献できる人材となることを目指します。

■史学科の回答

P48

個体を越えた時間を歴史として把握し、自らの指針にすることは人類の特権です。他の生物は体験は持っていますが歴史は持っていません。それ故歴史を究明することは人類のみに許された可能性です。大学院史学専攻では日本史学・外国史学・考古学・美学美術史・博物館学のコースに分かれ、上記の歴史学を専門的に究明することができます。専門的とはどのようなことをいうのでしょうか？それは多くの人と合意を形成できる客観性と論理性を獲得する行為です。そのために大学院では、学問に即した史資料の緻密な分析と学術論文の読解等を通じて、体系的な論理性を修得します。大学院を修了した修了生は、このような知的営為を身につけて、それぞれに専門を活かして社会貢献に励んでいます。



日本文学科

明治15（1882）年に創立された皇典講究所の伝統を踏まえ、古代から現在に至る日本の文学・言語・風俗習慣・儀礼などの研究を通して、日本文化を総合的・体系的に捉えつつ、今を生きる私たちの創造の指針となることを目指します。2年次には「日本文学」「日本語学」「伝承文学」のいずれかの専攻に分かれます。

〔伊勢物語絵巻〕（國學院大學図書館蔵）



日本文学科2年
大崎 真里加さん

日本文学科
竹内 正彦教授

対談

1000年経っても謎解きが終わらない源氏物語の魅力

（学年は取材時のもの）

竹内 大学で日本文学を学ぶ意義は何でしょうか。その一つは読解力をしっかりと養えるということです。自分自身で作品を読み込み、資料を調べて分析し、独自の解釈も加えていきます。これを繰り返すことで何が正しいかの判断力に磨きをかけることができます。これから生きるには事実を見極める力が必須になるでしょう。それを身に付けるうえで読解力は大きな武器になると考えます。

大崎 先生が指摘したように大学での学びは、それまでの解釈を鵜呑みにすることなく、まずは「本当なの？」と疑ってかかることから始まるような気がします。日本文学で学ぶうちに、その習慣が徐々に私の中にも定着しつつあるように感じています。私は高校時代に源氏物語に興味を持ち、先生に深く学びたいと相談したら、國學院大学がいいよと奨められて入学しましたが、その通りに指導の充実ぶりを肌で感じています。

竹内 日本文学は日本文学、日本語学、伝承文学の3つの専攻を設け、思想や文化などを究めることで日本とは何かを総合的、体系的に学べるようになっていきます。大崎さんが話してくれたように、本学科の特筆すべき点は教員が充実していることです。なかでも日本文学は時代別に複数の専任教員を配置し、例えば中世の視点から源氏物語を捉えてみるとか、上代と源氏物語のつながりは何かを研究するといった具合に学生の興味に応じて多角的なアプローチができるように工夫しています。加えて図書資料も他に類をみないほどに充実しています。

大崎 確かに柔軟な学びができます。演習では源氏物語、講読では平家物語を選択しましたが、貴族社会の女性と軍記物語に登場する女性とでは明らかな差異があって、それを比較できる面白さがあります。源氏物語だと六条御息所という女性に魅了されました。嫉妬深そうに見えつつ、感情を必死に抑えようと

するなど、現代の恋愛ドラマとの共通項も多いですね。それと頭中将らによる有名な「雨夜の品定め」でも誰を指しているかで研究者の見解が分かれている部分があり、興味が尽きない一因です。

竹内 今、例に上げた六条御息所という女性は物の怪になってしまうのですが、そうならざるを得ないと納得するほどのリアリティー感をもって描かれています。つまり現代小説的な要素もあるというわけです。また、1000年前の物語ながら、いまだに研究が続けられ、むしろ研究が進むに連れて不明な部分も増えていくという側面があります。こうした古典作品には生きていくための指針も示されています。これが読み継がれてきた理由でもあるのです。ぜひ多くの人が日本文学を学び、人生のヒントを見つけ出してほしいと思います。

●日本文学を漢字一文字で表すと…



磨

日本の言葉や文学、文化を読み解くことは、日本や世界を知ることであり、人の心を見つめて自身を磨いていくことにつながるため

多

どの部分に視点を置か一方で一人の人物像を多面的に捉えることや本文に対して多様な解釈ができるため



入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- 自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- 日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

入学者選考の観点

- [AP1]** 国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。
- [AP2]** 自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。
- [AP3]** 日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「古典A」「古典B」「現代文A」「現代文B」およびそれに相当する教科を履修していることが望まれます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程 V方式	個別学力試験 大学入学共通テスト	◎	○		教科に関する試験で大学での学びに対応しうる学力を有しているかを確かめます。
公募制自己推薦 (AO型)	調査書	○		○	レポートで本学科への志向性を、筆記試験で大学の学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。活動レポートは、主体性を持ち他者と協働して学ぶ態度の評価に使用します。
	志望理由書			◎	
	課題レポート			○	
	活動レポート			○	
	筆記試験	◎	◎		
系列三高校推薦	面接試験	○		○	調査書・筆記試験・志望理由書・活動レポートに基づいて、大学での学びに対応しうる学力を備えているか、進学への意欲があるかを確かめます。
	調査書	◎		○	
	志望理由書			◎	
	活動レポート			○	
	資格・検定試験の成績	◎			
協定校推薦	推薦書	○	○	○	レポートで大学の講義を理解する能力を備えているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	筆記試験	○			
	調査書	○			
	志望理由書	○		○	
	活動レポート			○	
指定校制推薦	資格・検定試験の成績	◎			筆記試験で大学での学びに対応しうる学力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。活動レポートは、主体性を持ち他者と協働して学ぶ態度の評価に使用します。
	推薦書	○	○	○	
	筆記試験	○		○	
	調査書	◎			
	活動レポート			○	
スポーツ推薦	面接試験	○		○	本学科での学修に関心があり、運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	調査書	○			
	志望理由書			◎	
	推薦書	○	○	○	
	小論文試験		○		
院友子弟等特別選考	面接試験			○	志望理由書で本学科への志向性を、レポートで大学の講義を理解する能力を備えているかを、筆記試験で大学の学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。活動レポートは、主体性を持ち他者と協働して学ぶ態度の評価に使用します。
	調査書	◎			
	志望理由書			○	
	活動レポート			○	
	課題図書に基づくレポート		◎		
社会人特別選考	筆記試験	◎	◎		筆記試験で大学での学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
	面接試験	○		○	
	調査書	○			
	志望理由書			◎	
学士・一般編入学	専門科目学力試験	◎			専門科目学力試験で日本文学科での学びに対応しうる学力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
	面接試験	○		○	
外国人留学生	志望理由書			◎	日本語小論文で日本文学科での学びに対応しうる学力および日本語運用能力を有しているかを、面接試験で進学への意欲があるかを確かめます。
	日本語小論文	◎	○		
	面接試験	○		◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 — 日本の文学・言語・文化を深く学ぶ

日本文学科では、1年次には3専攻の基礎を幅広く学び、2年次からは専攻に分かれて専門を深める学びを行います。

▶日本文学専攻

上代の『古事記』や『万葉集』、中古の『源氏物語』や『枕草子』、中世の『平家物語』や『徒然草』、近世の『奥の細道』や『東海道中膝栗毛』、そして近現代の夏目漱石や太宰治といった、日本文学のさまざまな作品や作家を研究の対象とします。学生一人ひとりの興味・関心に合った深い探究ができます。

▶日本語学専攻

古代から現代に至る発音・文字・表記・文法・語彙・表現など、言語としての日本語をあらゆる角度から学びます。『源氏物語』などの古典の文献資料から、現代の話し言葉やビジネス現場で使われる言葉、各地でのフィールドワークで明らかとなる方言まで、分析する資料は多岐にわたります。国語教育や日本語教育に関する講義が充実している点も特長です。

▶伝承文学専攻

声によって伝えられてきた昔話や伝説、行為によって伝えられた祭礼や年中行事、形によって伝えられた民具など、文字によって追うことができない文芸や儀礼・風俗といった日本の民俗文化を扱い、その本質を理解することを目指します。各地の民俗文化の実態を明らかにし、地方と中央、過去と未来を繋ぐ文化の動きをとらえ、日本文化に対する理解を深めます。

上記3専攻以外に「書道」「図書館学」「国語教育」「日本語教育」も日本文学科の大きな柱となっています。3専攻のいずれに属していても学修することができます。

日本文学科へようこそ 國學院ならではの「学び」の世界へ

①國學院の「國學」ってなに？

「国学」というのは、日本語・日本文化・日本思想について幅広く総合的に研究する学問のことで、江戸時代に始まったものです。日本古来の生活習慣や考え方などを知るためには、その資料として古典文学を正確に読まなければなりません。日本文学科の「三つの学び」は、どれも国学の伝統につながるものです。日本文学・日本語学・伝承文学の三つが一つになることで、国学の伝統を正しく受け継ぐことができるのです。

②どうして古文を読まなくちゃいけないの？

日本という国には、千年以上も昔からの文書や書物が数多く残っています。日本について深く知ろうとすれば、やはり残されている資料に書かれていることをていねいに読んでいくことが大切になってきます。その資料の多くは古文で書かれています。日本文学科では、資料の種類や性格を知り、そこで使われていることばについて深く考えることで、より豊かな「書物の読み方」を学んでゆきます。

③なぜ「伝承文学」の専攻があるの？

國學院の特色ある学問に「民俗学」があります。伝承文学専攻は、民俗学を専門的に学ぶコースです。民俗学は、衣食住などの生活習慣や、祭りや行事、昔話や俗信・妖怪など、それまで他の学問が見落としていた領域を研究対象としています。古典文学や日本語の研究でも、民俗学の資料や考え方を取り入れることによって、それまでわからなかった謎が解けることがあります。日本文学科では、國學院でしか学ぶことができない民俗学と日本語学・日本文学の複合した領域を学ぶことができます。

④日本文学科で学んだことを将来に生かすには？

日本文学科の卒業生は、社会の各方面で活躍しています。金融や流通などの業界に就職する人も少なくありません。しかし、國學院の名を高めてきたのは、国語の教員となった卒業生の活躍によるところが大きいです。國學院で学んだ国語教員は、専門的な知識の深さと正確さで尊敬を集めてきました。日本文学科では「書道」の教員免許状や日本語教師の資格も取得できるので、卒業生は活躍の場を広げています。また、文学や書物に関わる仕事を希望する学生も多く、「図書館学」を履修して図書館司書となった卒業生や、「表現文化」領域科目を履修して出版業界や放送業界に就職した卒業生もいます。

授業紹介

日本文学概説Ⅰ・Ⅱ

この授業は1年次の前期・後期に設置されていて、大学4年間の日本文学科の学びの「導入教育」に位置づけられています。そのため、図書館での調べ方、索引の活用法、データベースでの検索の仕方、テキストを読み込む際の着眼点など文学研究の基礎的な方法を学んでゆきます。

日本文学演習ⅠA・ⅠB

演習とは、与えられた課題に沿って学生が研究発表を行い、それについて他の受講生もまじえて議論・意見交換が行われる科目です。「日本文学演習ⅠA・ⅠB」の名称のもとに、8種類前後の演習を準備しています。それぞれに行われているテーマは年度によって異なりますが、『古事記』『万葉集』『蜻蛉日記』『源氏物語』『平家物語』、御伽草子、近世俳諧、近現代小説などです。

発表者が個人で発表するかグループで発表するか、ペーパーで発表するかパワーポイントを使うか、質問者の側が挙手して質問するか質問事項を紙に書いて提出するかなど、担当教員によってさまざまな形式があります。20名前後の受講生ですので、学生同士の相互理解も深まります。

学習指導と学校図書館

学校図書館司書教諭課程の科目です。欧米で考案された学習モデルに基づいて学校図書館の資料やインターネットの情報を活用する授業の形態を考察します。ブレインストーミングなどのアクティブな学習方法を取り入れて、ワークショップ形式で講義と演習を展開します。

日本語学演習Ⅱ

源氏物語をテキストとした演習です。今日に伝わる源氏物語の本文は、主に平仮名で書かれ、濁点も句読点もかぎらずとも施されていません。演習参加者は分担して、それに漢字をあて各種の符号を施して校訂本文を作成し、現代語訳を付けます。それに、その過程で疑問を持ったことや関心を持ったことについて調べ、考察を加えて、資料として整え、コピーして配布します。その発表に基づいて演習を行います。

伝承文学研究ⅡB

今はマンガやアニメで人気の「妖怪」。しかし妖怪はかつては真剣な恐怖の対象でした。この変化はなぜ、どうして起きたのでしょうか。民俗学の方法を用いて、妖怪観の変化と日本文化について考えていく講義です。



書道実習Ⅰ～Ⅳ

実習Ⅰ～Ⅲを通して、楷書・行書・草書・隷書・篆書（篆刻を含む）の漢字の五書体と仮名を、偏りなく学びます。歴代の名品の臨書を中心に、筆写力を養います。実習Ⅳでは、漢字仮名交じりの書や発展的な作品制作に取り組みます。



専任教員

- 【日本文学専攻】
- 石川剛夫 教授
近現代文学／特に大正～昭和の小説・評論
 - 井上明芳 教授
近現代文学／昭和期の文学を中心に研究
 - 岩崎雅彦 教授
中世文学／能・狂言
 - 上野誠 教授
上代文学／万葉文化論
 - 竹内正彦 教授
中古文学
 - 谷口雅博 教授
上代文学／『古事記』・『風土記』
 - 土佐秀里 教授
上代文学／『万葉集』を中心とした上代文学の研究
 - 野中哲照 教授
中世文学／単記物語の研究
 - 山田利博 教授
中古文学／物語および映像作品の研究
 - 中村正明 准教授
近世・近代文学／近世・近代前期戯作
 - 荒木優也 助教
和歌文学

- 【日本語学専攻】
- 小田勝 教授
日本語学／中古文法
 - 菊地康人 教授
言語学・日本語学・日本語教育／日本語文法と日本語教育
 - 三井はるみ 教授
日本語学／方言学
 - 諸星美智直 教授
日本語教育学／日本語教育史・近代日本語史・ビジネス文書学
 - 吉田永弘 教授
日本語史／中古・中世を中心とした語法・語彙の研究
- 【伝承文学専攻】
- 飯倉義之 教授
口承文芸研究／都市伝説・世間話研究
 - 伊藤龍平 教授
伝承文学
 - 大石泰夫 教授
民俗芸能／万葉民俗学
 - 小川直之 教授
日本民俗学／民俗文化の歴史性と比較民俗学／折口信夫研究

- 服部比呂美 准教授
日本民俗学／子どもの民俗文化
【書道】
- 野村ひかり 准教授
書道／中国書道史
- 橋本貴朗 准教授
書道／日本書道史・古筆学
【図書館学】
- 新藤透 教授
図書館情報学／日本図書館史
- 須永和之 教授
図書館情報学・学校図書館論／図書館行政と学校図書館の国際的比較
【教職課程】
- 齋藤智哉 教授
教育方法学
- 高橋大助 教授
国語教育学／文学教育論
- 高山実佐 教授
国語教育

専門教育科目構成

○数字：単位数

	1年次	2年次	3年次	4年次
学科基礎科目	日本文学概説Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学概説Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学概説Ⅰ②・Ⅱ② 漢文学概説②			
		日本文学講読Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学講読Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学講読Ⅰ②・Ⅱ② 漢文学講読Ⅰ②・Ⅱ②		
	基礎日本古典語Ⅰ②・Ⅱ② 書道Ⅰ②・Ⅱ② 書道概論② 影印講読② 基礎漢文学②			
		日本文学演習ⅠA②・ⅠB② 日本語学演習ⅠA②・ⅠB② 伝承文学演習ⅠA②・ⅠB②	日本文学演習ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB② 日本語学演習ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB② 伝承文学演習ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB②・ⅣA②・ⅣB② 日本語教育演習ⅠA②・ⅠB②・ⅡA②・ⅡB② 言語学演習Ⅰ②・Ⅱ② 国語教育演習Ⅰ②・Ⅱ② 表現文化演習ⅠA②・ⅠB②・ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB②	
				卒業論文⑧
				卒業論文⑧
日本文学科目群選択Ⅰ類		日本文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本上代文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本中古文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本近現代文学研究Ⅰ②・Ⅱ②	日本古典芸能文化論Ⅰ②・Ⅱ② 東アジア芸能文化論Ⅰ②・Ⅱ② 日本文学各論Ⅰ②・Ⅱ② 東アジア比較文学Ⅰ②・Ⅱ② 文献情報処理Ⅰ②・Ⅱ② 日本時代文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本中世文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本近世文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本近現代文学研究Ⅲ②・Ⅳ② 書誌学Ⅰ②・Ⅱ② 日本古典文学特殊研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本近現代文学特殊研究Ⅰ②・Ⅱ②	
日本語学科目群選択Ⅱ類		日本語Ⅰ②・Ⅱ② 言語学概論Ⅰ②・Ⅱ② 現代日本語文法Ⅰ②・Ⅱ②	日本語学Ⅰ②・Ⅱ② 日本語音声学Ⅰ②・Ⅱ② 古代日本語文法Ⅰ②・Ⅱ② 現代日本語研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学各論Ⅰ②・Ⅱ② 言語学特殊講義Ⅰ②・Ⅱ② 日本語教授法Ⅰ②・Ⅱ② 日本語教育研究Ⅰ②・Ⅱ②	
伝承文学科目群選択Ⅲ類		民俗学史Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学研究ⅠA②・ⅠB② 伝承文学研究ⅡA②・ⅡB②	伝承文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本民俗学Ⅰ②・Ⅱ② 口承文芸研究Ⅰ②・Ⅱ② 儀礼文化論Ⅰ②・Ⅱ② 比較民俗研究Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学思想② 現代文化論② 民俗文化財論Ⅰ②・Ⅱ② 比較口承文芸論Ⅰ②・Ⅱ②	民俗研究思想② 映像文化論② 民俗芸能論Ⅰ②・Ⅱ②
日本語教育領域選択Ⅳ類			日本語教授法Ⅰ②・Ⅱ②	日本語教育研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本語教育実習Ⅰ①・Ⅱ②
国語教育領域選択Ⅴ類				国語教育概論Ⅰ②・Ⅱ② 国語教育実践研究Ⅰ②・Ⅱ② 古典教育研究Ⅰ②・Ⅱ②
書道領域選択Ⅵ類		中国書道史Ⅰ②・Ⅱ② 書道実習ⅠA①・ⅠB① 書道実習ⅡA①・ⅡB①		日本書道史Ⅰ②・Ⅱ② 書道実習ⅢA①・ⅢB① 書道実習ⅣA①・ⅣB① 古筆学② 篆書法篆刻学② 隷書法② 書論研究②
表現文化領域Ⅶ類		表現文化論Ⅰ②・Ⅱ②		出版文化論Ⅰ②・Ⅱ② 放送文化論Ⅰ②・Ⅱ② 身体表現文化論Ⅰ②・Ⅱ② 文字表現文化論Ⅰ②・Ⅱ② 書誌学Ⅰ②・Ⅱ②
関連科目	中国古典語法基礎② 中国学入門②	中国文学通史② 中国文学基礎Ⅰ②・Ⅱ②		史料講読Ⅰ②・Ⅱ② 中国原典研究Ⅰ②

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。



中国文学科

中国の古典から近現代文学まで、中国文学を広く学びながら、世界に通じる広い視野と豊かな人間性を育成することを目指しています。中国古典と現代中国語を柱とし、2年次には、興味に応じて「文学研究」「中国語教養」「中国民俗文化」「人文総合」の4プログラムから一つを選択します。

「孔子行状図解」(國學院大學所蔵)



中国文学科
青木 洋司准教授

中国文学科2年
黒木 日向子さん

中国文学科2年
椿 翼さん

対談

古典の読解で養われる 多角的な視点

(学年は取材時のもの)

青木 中国文学を学ぶと言うと、多くは代表的な詩人、李白・杜甫らの作品の読解が中心になると受け止めるでしょう。しかし、本学の中国文学科は言語や文学はもとより思想、歴史、文化など中国について幅広く学ぶことに主眼を置いています。これは中国の事物全般を学ぶ「中国学」の考え方に沿っています。2年次からは「文学研究」「中国語教養」「中国民俗文化」「人文総合」という4つの中から興味のある分野を任意に選択し、それを重点的に学べるようにしています。他大学にはない特徴です。

黒木 今、先生が説明したように中国を広く学びたいというのが入学の動機です。最初に『三国志』が好きになり、次に逸話集の『世説新語』、小説集の『搜神記』をよく読むようになりました。『搜神記』には少女が大蛇を退治する話があるし、幽霊とか狐なんかも出てきて面白く学ぶことができます。つい熱中してしまうのは、現代にも通じるところがあるからなのでしょう。

椿 高校時代に漢文に興味を持ちましたが、その漢文と日本語との関係、それと『論語』に付された数々の注釈、その解釈を通じた儒教への関心と、中国文学科で学ぶに連れて面白さと興味の対象が着実に広がっています。私も中国学を総合的に学ぶつもりですが、2年次以降は中国の思想や哲学への関心を高めています。

青木 二人が感じた面白さの要因を紐解くと、中国の古典には道徳を説くだけでなく実に多様で奥深さがあるからなんです。笑いあり、恋愛あり、人を騙す話もある。そこから自分なりの教え・面白さを見出すのは読む側です。それと中国古典には共感できる部分と、できない部分がある。なぜ共感できないのかを探り出すことは、異文化への理解を促すカギになるでしょう。その点でも中国古典は恰好の材料です。

黒木 中国古典の読解は時間がかかるし、とにかく容易ではありません。しかし、辞書を片手に多くの史資料相手に奮闘する

なかで諦めない心や挑戦心が養われたように感じています。

椿 それは私もまったく同感ですね。また、日本語に影響を及ぼした漢文を学ぶことで、日本語への客観的な理解が改めて深まることにも気づきました。

青木 中国の古典は実に様々な解釈がされます。孔子の言葉も色々な人がそれぞれの解釈をしているのです。こうした言葉の真意に迫る学習を繰り返すことで、物事を多角的に見る目が養われると期待しています。当然この事は、これから生きる大きな力になります。

●中国文学科を漢字一文字で表すと・・・

	<p>本 原典を多く読解することで様々な「本」(もと、根本)に触れることができるため</p>
	<p>習 「子曰、学而時習之、不亦説乎。」朱熹はこの「論語」の一文を、鳥が飛べるようになるまでには何度か飛ばなく、学問を継続することはこれに似ていると解釈した。まさにこの一文で使われた「習」が大事であると思うため</p>
	<p>親 「みづから」「したしむ」の二つの意味が込められている。中国文学科で学ぶには自分で好きなジャンルを見つけ、学問に自ら親しむ姿勢が最も大切なため</p>

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 中国古典の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国近現代文学の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国語の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国文化の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 教職を目指しての専門分野の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。

入学者選考の観点

[AP1] 国語（古文・漢文を含む）を中心に、中国文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。

[AP2] 知識・技能に基づいて、論理的に考え、自主的に判断し、それを正確に表現する能力を持っているか。

[AP3] 中国の文学や文化に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに、「国語総合（古文・漢文を含む）」で古文・漢文の基礎をしっかりと身につけ、「世界史A」または「世界史B」では、特に中国の歴史・文化とわが国との関係について、十分な知識を身につけていることが望まれます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程 V方式	個別学力試験 大学入学共通テスト	◎	○		本学科での学修に必要な国語（古文・漢文を含む）等の学力を十分に持つ者を受け入れます。
公募制自己推薦（AO型）	調査書	◎			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	○	
	授業レポート	○	◎		
系列三高校推薦	面接試験	○	○	◎	中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に積極的に関わろうとする意欲のある者を、本学系列三高等学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	○	
協定校推薦	資格・検定試験の成績	◎			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある者を、本学から依頼した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	推薦書	○	○	○	
	授業レポート		○		
	面接試験			○	
	調査書	◎			
指定校制推薦	志望理由書		○	◎	中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある者を、本学が指定した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	活動レポート	○	○	○	
	資格・検定試験の成績	◎			
	推薦書	○	○	○	
	レポート	○	◎		
スポーツ推薦	面接試験	○	○	◎	本学科での学修に関心があり、かつ運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	調査書	○			
	志望理由書		○	◎	
	推薦書	○	○	○	
院子弟等特別選考	小論文試験		○		中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある院友（本学卒業生等）の子弟等を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	○	
学士・一般編入学	課題図書に基づくレポート	○	◎		中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある院友（本学卒業生等）の子弟等を受け入れます。
	授業レポート	○	◎		
	面接試験	○	○	◎	
	調査書	○	○	◎	
専攻科編入学	専門科目学力試験	○	◎		学士または編入学の資格を有し、中国の文学や文化への強い興味・関心及び基礎知識を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 — 中国古典と現代中国語／興味に応じて選べる4つのプログラム

中国古典の学修と現代中国語の習得を大きな柱にしています。

- 古典は普遍的な価値を持ち、現代のさまざまな問題にも主体的に取り組める力になります。
- 現代中国語については、学修とあわせて留学を推奨しています。実際に現地で得られる体験を大切に考え、約5・6か月間のセメスター留学（選択制）をカリキュラムに組み込んでいます。

4つのプログラムから、自分の興味に応じて選べます。

1年次に基礎を学び、2年次はじめに下記より一つを選択して学びを深めます。

- ▶文学研究プログラム ～文学の深い探究～
- ▶中国語教養プログラム ～中国語を存分に～ ※セメスター留学必修
- ▶中国民俗文化プログラム ～中国の人と生活を知る～
- ▶人文総合プログラム ～幅広い中国理解～

詳しくは別冊の中国文学科ガイドブックをご覧ください。

中国文学科の4年間

時 期	主な学修項目
1年前期（第1セメスター）	「中国学入門」で中国学の枠組みを知り、古典読解と中国語の基礎を学びます。学修姿勢を確立する時期です。
1年後期（第2セメスター）	4プログラムの導入的内容をそれぞれの「概説」の授業で学び、2年次はじめのプログラム選択につなげます。
2年前期（第3セメスター）	古典読解・中国語の運用能力をこまめに固め、今後の発展的学修や留学に求められる基礎力を身につけます。
2年後期（第4セメスター）	2年前・後期で、各プログラムの「基礎」科目を学びます。セメスター留学選択者は、この時期に留学します。
3年（第5・6セメスター）	3・4年次は応用・発展・総合的学修が主となります。卒業論文を選択した場合は、2年をかけて制作します。
4年（第7・8セメスター）	大学での学びを集大成する期間です。卒業論文や演習科目を中心に、これまでの成果を総合し、完成させます。

卒業論文と卒業論文発表会

大学での学びの成果といえば卒業論文、という印象は、今も強いでしょう。卒業論文は選択制ですが、学科ではぜひ取り組んでほしいと思っています。

卒業論文を選択すると、まず「卒業論文Ⅰ」（第5セメスター）で必要な調査を行いながらテーマを決定し、「卒業論文Ⅱ」で卒業までの3セメスターをかけて、教員の指導を受けながら論文を制作します。

また、完成後には、「卒業論文発表会」を行います。優秀論文数本の要旨が発表され、4年生だけでなく、これから選択する1～3年生も参加して熱心に耳を傾け、質疑応答も行われます。最優秀論文には、國學院大學中國學會より「中國學會奨励賞」が贈られ、表彰されます。

就職フォーラム

卒業後、どんな職に就くか。就職は在学中の大きな関心事でしょう。本学科では、毎年12～1月ごろに「中国文学科学生対象就職フォーラム」を実施しています。実際の企業の方からアドバイスをいただいたり、内定を受けた4年生に、一般企業・公務員・教員の部門別に、心かけや体験談を話してもらったりします。3年生を中心に参加者も多く、質疑応答も活発に行われて、今後の自分の活動・取り組み方の参考になっています。



授業紹介

中国古典読法 I

中国文学科では、中国古典の読解・中国語運用能力の向上・漢字情報処理技術の向上の3項目を学修の柱としています。このうち、中国古典については、漢文訓読を用いて読解を行います。「中国古典読法」は、訓読の知識と技術を養成する科目です。1年前期～2年前期（第1～3セメスター）に「I」「II」「III」（いずれも必修）、また、初学者用に「基礎」（1年前期、選択）の4科目を設けて、古典文の基本構造や句法、訓読に必要な古語文法、内容の読解法などについて、段階的に学びます。「中国古典読法 I」では、例文や短い文章の読解を通じて、漢語の構造や重要な句法・知識を学び、習熟に努めます。辞書を引き繰り返して音読して内容を自分のものにし、積み重ねていく姿勢が大切です。

中国語演習 I

1年次前期に習得した中国語文法の基礎内容を再確認するとともに、簡単な文章を読むことで、第一段階の読解力の養成を目指す演習です。テキストの朗読も行い、発音の間違いを随時に指導します。使用する教科書は、現代中国の生活を題材に取った内容です。



「中国民俗文化プログラム」の導入となる科目です。中国古典小説中の、神や仙人、幽霊、妖怪などが登場する不思議な話を取り上げ、現代中国の民俗事象と関連させながら読んでいきます。これによって、中国民俗文化への理解を深めていきます。

卒業論文 I

卒業論文は、自分でテーマを見つけ、長い時間をかけて調査し、考察して執筆します。テーマの設定・資料の収集と分析・主張の形成と発信——研究の手順に従い、自らの力で進める卒業論文制作は、大学での学修の集大成といえます。そこで中国文学科では学生に卒業論文の選択を強く勧めています。「卒業論文 I」の授業内容は、なぜ卒業論文を書き、そしてなにを書くのか、その動機付けとテーマ設定を柱とします。5月に「卒業論文 II」担当教員全員が授業の中でプレゼンテーションを行います。6月には受講生一人一人が自分の関心に基づき、教員と面談をして、7月に題目（第1次題目）を決定します。ここまでの指導を行います。

中国民俗文化概説

「中国民俗文化プログラム」の導入となる科目です。中国古典小説中の、神や仙人、幽霊、妖怪などが登場する不思議な話を取り上げ、現代中国の民俗事象と関連させながら読んでいきます。これによって、中国民俗文化への理解を深めていきます。



漢字情報処理 I・II

「漢字情報処理技術の向上」のための科目として、2年次に「I」、3年次に「II」を設けています。「I」では、中国文学・漢字文化圏の学芸を学ぶ際に有用なコンピュータ技術と情報処理能力を身につけ、漢字文献の入力並びに情報の活用、書式の整ったレポート作成技術を修得します。また、3年次の「II」では、レポートや卒業論文の作成に有効な、情報の高度な検索（電子情報だけでなく、図書館の徹底活用も含む）や加工に関する技能を中心に講義・演習します。中国文学科の様々な専門分野の知識を総動員して探し求めねばならない「お題」を課題として与え、自身の専攻以外の内容にも幅広く触れ、知見を広げるとともに、各種の「工具書」に実際に触れ、活用できるようにします。

楚辞演習

楚辞は中国文学の祖とされる古典で、複雑な比喩を交えて、多彩な感情が表現されています。演習では受講者の解釈を一字一字検討しつつ進めます。調べてさらに深く考える、古典を「読む」本質を実践できる演習です。



専任教員

- 浅野春二 教授
中国宗教文化／道教の儀礼と民間信仰の研究
- 石本道明 教授
中国古典文学／宋代文学の研究
- 澤崎久和 教授
中国古典文学／唐代文学の研究

- 宮内克浩 教授
中国古典文学／漢代辞賦文学の研究
- 青木洋司 准教授
中国哲学史／宋代学術の研究
- 吳鴻春 准教授
中国語／中国語教育の研究

- 長谷川清貴 准教授
中国思想／漢代思想の研究
- 牧野格子 准教授
中国近現代文学／謝冰心文学の研究

専門教育科目構成

○数字：単位数

		1年次	2年次	3年次	4年次	
学科基礎科目	学修基礎科目	中国古典読法基礎② 中国古典読法 I ②・II ②	中国古典読法 III ②			
	学科基礎科目	中国学入門② 中国文学概説② 中国語基礎演習② 中国語演習 I ① 唐宋詩文演習②	中国文学通史② 中国語演習 II ① 漢字情報処理 I ② 詩経演習② 論語演習②	漢字情報処理 II ② 楚辞演習② 文選演習②		
	学科 応用科目			中国原典研究 I ②・II ②・III ②・IV ② 中国原典演習 I ②・II ②・III ②・IV ②		
	研究・演習				卒業論文 I ② 卒業論文 II ⑥	
プログラム 基礎科目	導入科目	中国文学概説② 中国民俗文化概説② 現代中国概説②				
	文学研究	中国古典の世界②	中国文学基礎 I ②・II ②・III ②			
		現代中国の世界②	中国語教養基礎 I ②・II ②・III ②			
		中国民俗文化	中国文化の世界②	中国民俗文化基礎 I ②・II ②・III ②		
	人文総合	中国「君子」の世界②	人文総合基礎 I ②・II ②・III ②			
		文学研究			中国文学特殊講義 A ②・B ② 中国学特殊講義 I～XIV (各②)	
		中国語教養			中国学特殊講義 XV～XIX (各②)	
中国語教養				中国語教養特殊講義 A ②・B ② 中国学特殊講義 I～XIV (各②)		
プログラム 応用科目	中国民俗文化	日本文学概論 I ②・II ② 日本語学概論 I ②・II ②		中国民俗文化特殊講義 A ②・B ② 中国学特殊講義 I～XIV (各②)		
	中国民俗文化			中国学特殊講義 XV～XIX (各②)		
	人文総合			人文総合特殊講義 A ②・B ② 中国学特殊講義 I～XIV (各②)		
関連科目	書道 I ② 書道 II ②		日本文学講読 I ②・II ② 日本文学史 I ②・II ② 日本語学講読 I ②・II ② 日本語史 I ②・II ② 日本語教授法 I ②・II ② 伝承文学講読 I ②・II ② 書道実習 I A ①・I B ①	書道実習 III A ①・III B ① 古典教育研究 I ②・II ② 国語教育学概論 I ②・II ② 国語教育実践研究 I ②・II ②		
			書道実習 II A ①・II B ①		書道実習 IV A ①・IV B ①	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。



外国語文化学科

言語を学ばなければ、文化を理解することはできません。また、文化を知らなければ、言語を使いこなすことはできません。言語と文化を総合的に学ぶことで、日本文化と外国文化の違いや共通点を理解し、異文化間の橋渡し役となるグローバルな視野を持った人間を育成します。

「マッターホルン(スイス)」
(撮影:外国語文化学科 笠間直穂子准教授)

外国語文化学科
藤野 敬介 准教授

外国語文化学科4年
菅原 佑斗さん

対談

言語と文化の両方を学び 相乗効果を

(学年は取材時のもの)

藤野 外国語文化学科は、その名が示すように外国語と文化の両方を学べるのが最大の特徴です。言語と文化を一体のものとして捉えるカリキュラムが組まれているということです。外国語を教える一環として、関連する文化の授業を設けている大学はありますが、最初から両方を教えるという考え方で授業を組んでいるのは本学だけだと思います。それと必修の英語のほかにドイツ語、フランス語、中国語の中から1言語を選択し、履修しなければなりません。すなわち4年間で2言語を学べることになります。

菅原 先生が今、説明したように私も外国語と文化の両方を学べることに魅かれ、入学しました。それとオープンキャンパスで英文法などの基礎を改めて学び直したいという要望にも応えますという説明がありました。高校時代に英語は得意科目ではあったのですが、自分としては不十分さを感じていたというか、基礎をしっかりと固めたうえで大学の授業に臨みたいという気持ちがありました。その意味では探し求めていた学科だったと言えます。

藤野 外国語の言語と文化の両方を学ぶ意義はどこにあるのでしょうか、私は文化という側面からもアプローチしないと言語を真に理解できないと捉えています。言語の背景にある文化も理解していないと、ある段階で限界に達して先に進めないように思えます。言語と文化は車の両輪の関係であり、両方学ぶことで相乗効果を引き出せるのではないのでしょうか。

菅原 確かにその言語が使われている地域への文化的な理解が進むと、言語の授業への興味が増し、学ぶことが面白く感じられました。また、入学前の説明通りに英語の基礎を固めてもらうこともできました。それと見逃せないのは、学部や学科を超えて興味のある授業を受けられるフレキシブルな体制が敷かれ

ていることです。私は個人的に興味があった心理学関連の授業を受けていました。学びたいという意欲に的確に応えてくれる大学という印象を持ちました。

藤野 学びの意欲に応えるという意味で、最近は豪州や米国、カナダなどへの海外留学にも力を入れています。留学をすると視野が広がり、異なる価値観を身に付けられる効果が期待できます。また、個別に学習していた発音や文法などが上手くからみ合い、ある段階から外国語が自然と話せる可能性も出てきます。海外留学にもぜひチャレンジしてもらいたいと考えています。

●外国語文化学科を漢字一文字で表すと…



汎

汎には「広く行き渡る」という意味がある。自らの知識と意識を日本に押しとどめることなく世界へと広く行き渡らせ、人生を豊かなものにしてもらいたい



支

教授や職員の方々が学生に真摯に向き合い、その意欲を支えてくれるため

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 英語および選択必修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語のうち一言語）を使えるようになりたいという意欲をもつ者。
- 英語、ドイツ語、フランス語、中国語を話す地域を中心に、世界各地の文化や習慣を知り、知識の幅を広げたいという意欲がある者。
- 日本と世界各地のさまざまな言語・文化を照らし合わせながら、グローバル社会における日本文化の発信にかかわろうとする意欲がある者。

入学者選考の観点

- [AP1]** 外国語、国語を中心に、外国語文化学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。
- [AP2]** 自分の知識・技能を適切に組み合わせて、論理的に考え、答えを導き出し、表現する能力をもっているか。
- [AP3]** 自発的に学び、多様な価値観をもつ人々と積極的に協力する姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「英語表現Ⅰ、Ⅱ」「国語総合（現代文）」を身につけ、さらに「世界史B」「日本史B」「地理B」から一つ以上の教科を学んでおくことが望まれます。

以上に加えて、実用英語技能検定（英検）2級以上（CSE2.0：1980以上）、TOEIC L&R 500点以上を獲得できる英語能力を持つことが望まれます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程 V方式	個別学力試験 大学入学共通テスト	◎	○		外国語・外国文化を深く学ぶための総合的な学力を持つ者を受け入れます。
公募制自己推薦（AO型）	調査書	◎			本学科に対する強い志向性を重視します。その上で、外国語・外国文化を学ぶのに必要な基礎学力を持つ生徒を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	◎	
	資格・検定試験の成績	◎			
系列三高校推薦	面接試験	◎	◎	○	系列三高校の生徒で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		◎	○	
	活動レポート		○	◎	
協定校推薦	資格・検定試験の成績	◎			本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	推薦書	○	○	○	
	授業レポート		○		
	面接試験			○	
指定校制推薦	調査書	◎			指定校の生徒で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力を持つ者を受け入れます。
	志望理由書		◎	○	
	活動レポート		○	◎	
	資格・検定試験の成績	◎			
院友子弟等特別選考	推薦書	○	○	○	院友子弟等で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。
	レポート	○	◎		
	面接試験	○	○	◎	
	調査書	◎			
学士・一般編入学	志望理由書		◎	○	本学科への学士入学または一般編入学を強く望み、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力を持つ者を受け入れます。
	活動レポート		○	◎	
	課題図書に基づくレポート	○	◎		
	資格・検定試験の成績	◎			
	面接試験	◎	◎	○	
	資格・検定試験の成績	◎			
	面接試験	◎	◎	○	
	面接試験	◎	◎	○	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 — 二つのコースで理解を深める言語と文化

外国語文化学科では、言語と文化を一体のものとして捉えるカリキュラムを用意しています。必修として全員が英語を学ぼうか、入学時からドイツ語、フランス語、中国語のいずれか1言語を選択し、合わせて2言語を4年間学ぶことができます。同時に、英・独・仏・中国語圏の文化について知識を得ることで、主体的に異文化コミュニケーションに関わる力を養います。言語に重心を置くか、文化に重心を置くかにより、2年次に二つのコースのいずれかを選択し、学修を深めます。

▶外国語コミュニケーションコース

世界中のさまざまな言語・文化的背景を持つ人々と、主体的にコミュニケーションできる能力を身につけることを目標とします。学生それぞれの興味・関心により、共通語としての英語を中心に学ぶこともできますし、選択外国語（ドイツ語・フランス語・中国語）を重点的に学ぶこともできます。実際に現場で使える外国語の修得を重視しています。

▶外国文化コース

言語と文化を一体として捉える視点から、外国語とその国の文化を同時に知り、偏見のないグローバルな視野と判断力を身につけることを目標とします。各地域の文学・芸術・社会、比較文化や文化交流について広く学ぶことで、さまざまな文化を知るとともに、自分自身や日本に関する理解を深め、国際社会において主体的に活躍する力を培います。



授業紹介

英語演習 I A・I B

英語の四技能に目を配りつつ、コミュニケーション能力の土台を築き上げるための授業です。正しい発音法の理解と実践、それに基づいた基礎的な会話演習、そして英語長文の要約文の作成など、多様なアクティビティを通じて自分なりの土台を構築していただきます。



Select English I・II

上級者向けの、英語のみで行う授業です。特に留学帰りの学生や、既に高度な英語能力を身に付けている学生がさらに力を伸ばすことができます。Iでは神話、IIでは現代社会について講読・発表・議論します。



ドイツ語研究 I・II

初めて音声学・音韻論を学ぶ人でも理解できるように、音声や音韻に関わる身近な現象を取り上げ、画像や音響資料などで確認しながら授業を進めます。また、日本語とドイツ語の母音や子音、ストレスやイントネーション、音韻体系の違いなどを解説する他、音声分析ソフトを使って視覚的に自分の音声を観察し、明瞭性の高い標準ドイツ語の発音を身につける練習をします。日本語とドイツ語の音声の違いやそのメカニズムを知ること、言語活動に欠かせない音声と音韻についての理解を深めていきます。

英語コミュニケーション演習 A・B

1・2年生で培った外国語コミュニケーション能力を土台として、プレゼンテーションやディベートなど、学生が主体となるアクティビティに取り組んでもらう授業です。ここでは瞬発力も大切ですが、自分の論点を明確にし、それを明快な言葉（外国語）で表現するという語学的な編集力も重要になります。外国語でのコミュニケーションに必要なのは、言おうとすることを日本語で思い描いた後、それを一語一語直訳することではなく、言おうとすることの「意味/内容」を外国語に変換して伝えることであり、ここはそれを体感できる場だと言えるでしょう。他文化理解の鍵となる表現作法を学びながら、授業に「参加する」というより、授業を「創造する」主体となってください。

中国地域文化論 I・II

中国は、公式に認められただけでも56の民族が住む多民族国家であり、それぞれの民族の文化は想像を超える多様性を見せています。この授業では、中国南部の少数民族地域に住んだ経験のある講師が、これらの民族の歴史、言語、宗教、衣食住などについて、写真や映像を交えながら紹介します。講師が現地で調達してきたポップミュージックの映像には、おそらく他では見ることができないものも含まれています。現地の空気を感じてもらいながら、一面的になりがちな中国理解に一石を投じます。

文化総合演習 A・B

3・4年生が自分で設定したテーマについて、研究発表と討論を重ねます。また、国内外の社会や文化を理解するキーワードについて、教員がファシリテーターとなって全体で討論し、卒業論文につながる方法論を学びます。



専任教員

- 浅井理恵子 教授
英語／現代アメリカ史・ジェンダー史
- 岩瀬由佳 教授
英語／説話比較研究
- 黒澤直道 教授
中国語／中国の文化と民族
- 白井重範 教授
中国語／中国近現代文学
- 高橋昌一郎 教授
英語／論理学、英米哲学、認知科学
- 高屋景一 教授
英語／教育哲学、教育思想史、カリキュラム論

- 新倉真矢子 教授
ドイツ語／音声学、音韻論、ドイツ語教育
- 針谷壮一 教授
中国語／現代中国語学
- 深谷優子 教授
教育心理学
- 福井崇史 教授
英語／19世紀末アメリカ文学、批評理論
- 水口学 教授
英語／理論言語学、生物言語学、統語論
- 山西治男 教授
英語／英米文学・文化、翻訳

- 笠間直穂子 准教授
フランス語／近現代フランス語学
- 上石田麗子 准教授
英語／英国20世紀文学・文化
- 宍戸節太郎 准教授
ドイツ語／ドイツ現代文学・思想・文化
- 進藤久乃 准教授
フランス語／20世紀フランス文学
- スピアーズスコット 准教授
英語／日本中世文学（和歌文学）
- 藤野敬介 准教授
英語／英文学、教育催眠

専門教育科目構成

○数字：単位数

	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門基礎科目	導入科目	外国語文化導入演習② 外国文化入門②			
	外国語基礎演習	英語演習 I A②・I B② 英語文献演習 I A②・I B② ドイツ語演習 I A②・I B② フランス語演習 I A②・I B② 中国語演習 I A②・I B②	英語演習 II A②・II B② 英語文献演習 II A②・II B② ドイツ語演習 II A②・II B② フランス語演習 II A②・II B② 中国語演習 II A②・II B② 英語表現 A②・B② ドイツ語表現 A②・B② フランス語表現 A②・B② 中国語表現 A②・B②		
	文化基礎演習	英文法 A②・B②	文化基礎演習 A②・B②		
専門応用科目	外国語演習			英語コミュニケーション演習 A②・B② ドイツ語コミュニケーション演習 A②・B② フランス語コミュニケーション演習 A②・B② 中国語コミュニケーション演習 A②・B② 英語展開演習 A②・B② ドイツ語展開演習 A②・B② フランス語展開演習 A②・B② 中国語展開演習 A②・B②	
	選択 I 類 (言語系)			英米語研究 I②・II② ドイツ語研究 I②・II② フランス語研究 I②・II② 中国語研究 I②・II② 日本語学 I②・II②	
発展科目		ビジネス英語 I②・II②	Select English I②・II②		
	選択 II 類 (文化系)	比較文化論 I②・II② 英米地域文化論 I②・II② ヨーロッパ地域文化論 I②・II② 中国地域文化論 I②・II②		外国文学 I (英)②・II (米)② III (独)②・IV (独)② V (仏)②・VI (仏)② VII (中)②・VIII (中)② 情報文化論 I②・II②	
演習・卒業論文			外国語総合演習 A②・B② 文化総合演習 A②・B② 卒業論文⑧		

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。



史学科

「日本史学」「外国史学」
「考古学」「地域文化と景観」
の4コースに加えて、一般企業や公務員としての就職を目指すSプログラム、大学院進学や教職・学芸員としての就職を目指すPプログラムの2プログラムを設定したカリキュラムを導入しています。多様かつ幅広い専門分野での実証的な歴史学と、学生自身のキャリアデザインに基づいた学びを実践しています。

〔福島の慧日寺跡の復元金堂〕(撮影・史学科 青木敬教授)



史学科3年
草山 菜摘さん

史学科
岩橋 清美准教授

対談

史料を読み解き 新たな歴史像を築く力

(学年は取材時のもの)

岩橋 本学史学科の特色は、多彩な教授陣による内容豊かなカリキュラムが用意されていることと、史資料が充実していることにあります。これによって基礎から専門まで歴史への理解を存分に深めることができます。例えば、日本史学コースでは、古代・中世・近世・近現代の4つの時代に2名ずつ専任教員を配しています。2年次には日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観の4つのコースから学びたい分野を任意に選択できるようにし、多様な学びに応える工夫もしています。

草山 私が本学を選んだのも、先生の説明のように、史学科の教授陣が充実していると知ったからです。高校時代に部活で古文書を読み解くうちに、歴史学をより深く学びたいと思うようになりました。授業が充実していることで、私が今学んでいる近世史に関わらず、中世史などの隣接する時代のことを学び、その成果を自分の研究に役立てることができます。これも本学の特色の一つであると考えます。

岩橋 史学科では、古文書などの史資料を一つ一つ丁寧に読み解き、その社会的背景も考えながら歴史像を構築する力を養います。実証を積み重ねて新たな歴史像を構築し、それを論理的な文章でまとめる力を育むことができれば、情報が氾濫する現代社会において何が正しく、自分がどうあるべきかを見極めることができるようになるでしょう。これが歴史学を学ぶ意義の一つだと考えています。

草山 私が研究する上で大切にしていることは、史料を読む際にどの部分が大切かを見極めることの重要性です。歴史研究における史料を精査する力は、現代社会における諸問題を解決する力と同義だととらえています。私は、江戸時代に村落が自主的に定めた村法を研究しています。村法は自主的に定められた

とは言え、幕府法・領主の影響も見ることができます。

岩橋 江戸時代の村人たちは、自らの生活や生業を維持していくために、話し合いによって合意を形成してルールをつくっていたと言えます。

草山 そういうことですね。村法の成立過程や内容分析を通して、近世社会の自律性・社会の変容とそれを対応する人々の姿を明らかにしていきたいと思います。

●史学科を漢字一文字で表すと・・・

求

歴史研究とは、史料や文献を読み込み、論理的に考えることで新たな歴史像の構築を求めていくことです



実

史資料に基づいて史実を明らかにし、[実り]ある卒業論文を作成するのが重要であると考えているため

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 日本や世界の歴史に関心を持ち、さらに専門的な知識を学んで理解を深めたい者。
- 歴史資料の調査や研究方法を学び、歴史研究の発信や文化財の保護・活用にかかわりたいという意欲がある者。
- 歴史上の諸問題に関心を持ち、さまざまな価値観を持つ人々と協力しながら、新しい社会を創造していこうとする意志を持つ者。

入学者選考の観点

[AP1] 地理歴史、国語、英語を中心に、史学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。

[AP2] 物事を論理的・客観的に考える力があり、それらを自分の言葉で発信する能力があるか。

[AP3] 日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観（歴史地理）分野の学修・研究に強い関心を持ち、かつ主体的に学ぶ姿勢を備えているか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに、「日本史B」「世界史B」「地理B」から一つ以上を学んでおくことが望まれます。さらに、「国語総合（古文・漢文を含む）」「古典B」「コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「英語表現Ⅰ、Ⅱ」およびそれに相当する教科について、基礎学力を身につけておくことが望まれます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		本学科での専門的学修に必要な日本史・世界史・地理に関する基礎知識、および歴史資料を理解し、学修の成果を発信するために必要な国語（古文・漢文）・英語などの言語能力を十分に備えた者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	調査書	◎			歴史・地理分野の研究に強い関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わりようとする意欲的な者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	レポート		◎	○	
	活動レポート		◎	○	
	論述試験	○	◎		
系列三高校推薦	調査書		◎		建学の精神を理解し、高校での学修成績が優秀な者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート			◎	
	資格・検定試験の成績	◎		○	
	推薦書	○	○	○	
協定校推薦	調査書		◎		高等学校での学修成績が優秀であり、かつ本学科での学修に意欲的な者を受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート			◎	
	資格・検定試験の成績	◎		○	
	推薦書	○	○	○	
指定校制推薦	調査書		◎		高等学校での成績が優秀であり、かつ本学科での学修に意欲的な者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート			◎	
	資格・検定試験の成績	◎		○	
	推薦書	○	○	○	
スポーツ推薦	調査書	○			本学科での学修に関心があり、かつ運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	推薦書	○	○	○	
	小論文試験			○	
	面接試験			○	
院友子弟等特別選考	調査書		◎		建学の精神を理解し、本学科での学修に意欲的な院友子弟等を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート			◎	
	課題図書に基づくレポート	○	◎		
	論述試験	◎	○		
学士・一般編入学	専門科目学力試験	◎	○		本学科での学修・研究に明確な目的意識と高い意欲を持つ学生を受け入れます。
	面接試験		○	◎	
外国人留学生	志望理由書		○	◎	日本語の駆使能力を有し、本学科での学修に強い関心を持つ外国人留学生を受け入れます。
	日本語小論文	○	◎		
	面接試験			◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 — 4つの専門コースで学ぶ実証的な歴史学

1. 4つのコースと幅広い専門分野

日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観の4つのコースがあり、幅広い専門分野の中から自分の専攻を選択できます。文字史料に基づく文献史学以外にも、考古資料・美術工芸品・文化景観などを扱う多様な授業を開講しています。

2. SプログラムとPプログラム

卒業後のキャリアデザインに合わせて選択する2つの履修プログラムが用意されています。一般企業への就職や公務員を目指す人には、幅広く歴史の教養を身に付けるStandard career program（Sプログラム）、教員や専門職、大学院進学を目指す人には、歴史をより深く学ぶProfessional career program（Pプログラム）を推奨します。

3. 充実した演習と卒業論文

「史学導入演習」「史学基礎演習」「史学展開演習」「史学応用演習」の各演習科目を4年間かけて段階的に履修しながら、歴史学の研究方法を実践的に学びます。2年次には専攻を決め、指導教員による論文指導が始まります。4年間の学びの総括となるのが卒業論文です。

史学科の学び



国学院大学文学部史学科では、1年次必修科目「史学導入演習Ⅰ」で使用されるテキストを作成しました。「史学導入演習Ⅰ」の授業は、史学科生に求められる基礎知識・能力・研究倫理・学修姿勢を身につけること、歴史学の基本的な研究方法にふれることを目的として、1年次前期に設置されています。具体的には以下の5点を目標に、本テキストに沿って授業が行われます。

- (1) 「学びの場」である史学科の歴史やカリキュラム・特徴を理解できる。
- (2) 大学での学び方、生活のマナーを身につけ、主体的に行動できる。
- (3) 学修に必要な知識・情報（書籍・論文）の入手の仕方、情報ツールの活用法、学修・研究上の倫理（ルール）を習得する。
- (4) 学んだことをまとめ、考えたことを人に伝えるための発表の技術、文章作成術を習得する。
- (5) 自身が専攻するコース・分野の研究方法を理解・説明できるとともに、その分野の文献を読み、論旨を説明できる。

本テキストを用いた学修を通じて、高校での歴史・地理の学びから、大学での史学の学び、そして自身の目指す研究へと、スムーズに移行できるよう設定されています。

授業紹介

史学入門Ⅰ・Ⅱ

この授業では、文学部史学科の新入生を対象として、各コース・各専門分野の特色を概説するとともに、歴史の研究に必要な基礎知識や研究方法を分かりやすく講義します。大学で学ぶ歴史学とは何か、どのような専門分野があるかを知り、史学科生としての基礎学力を身に付けてもらいます。

東洋地域史Ⅰ～Ⅳ

この授業では、アジア各地の多様な歴史を学びます。内陸アジア・東南アジア・チベット・モンゴル・イスラーム世界のほか、中国都市史・中国環境史・地方政権研究などの講義もあります。アジア史の多様性を実感してください。



考古学調査法Ⅰ・Ⅱ／考古学実習Ⅰ・Ⅱ

夏季休暇期間中におこなう遺跡の発掘調査（考古学実習Ⅰ・Ⅱ）に参加して、考古学調査の基礎知識とさまざまな技術を実習する授業です。考古学調査法Ⅰでは測量器材の使い方や調査対象遺跡について勉強し、発掘の計画と準備を進めます。考古学調査法Ⅱでは出土した遺物や記録を整理し、発掘調査報告書をまとめます。本格的な写真撮影やパソコンを使った文書・画像の制作なども修得します。



日本時代史Ⅰ・Ⅱ

古代日本に律令制国家が成立して以降、権力構造はどのように変化し、支配者層はいかに対応していったのでしょうか。この授業では、8世紀と9世紀以降に焦点をあて、古代天皇制がどのように変化していったのかについて考えていきます。高校までの暗記中心の日本史とは異なり、複数の学説を紹介しながら、史料をどのように解釈すれば合理的説明ができるのか、講義を通して考えてほしいと思います。

西洋史概論Ⅰ・Ⅱ

西洋史を通史的に理解するための授業です。そもそも「西洋」とはどこを指すか、という問題に始まって、古代ギリシアから21世紀の現代まで、およそ2500年の歴史を、古い時代から順に、時代区分に即して説明します。概論Ⅰは、西洋史を包括的に扱います。概論Ⅱでは、西洋史をグローバルな視点で捉え直しながら、近現代史を中心に解説していきます。

地域文化と景観調査法

日常生活やビジネス・シーンで多用される地理情報システムGISの基礎と、その歴史・景観研究への活用法を学びます。また春・秋に岩手県の学習田で農業体験を兼ねた現地調査実習を実施します。



専任教員

- 青木敬 教授
歴史考古学／古墳時代・古代の考古学
- 内川隆志 教授
博物館学／文化財保護史
- 大久保桂子 教授
イギリス近代史、西洋近代史
- 神長英輔 教授
ロシア近現代史、東北アジア近現代史
- 佐藤長門 教授
日本古代史／日本古代王権・国家論
- 澤田浩一 教授
公民科教育、道徳教育、社会科教育
- 高橋秀樹 教授
日本中世史／平安～鎌倉の貴族、武家

- 谷口康浩 教授
先史考古学／縄文時代の社会構造、儀礼祭祀の考古学
- 林和生 教授
歴史地理学、地域研究（中国）／近代中国の商業と都市の研究
- 樋口秀実 教授
中国近代史／中国近代政治史、日中関係を中心とする東アジア国際政治史
- 矢部健太郎 教授
日本中世史／政治史、公武関係史
- 吉岡孝 教授
日本近世史／江戸幕府論・政治史・思想史
- 吉田敏弘 教授
歴史地理学、地図史／日欧の中世農村論、荘園絵図・寺社絵図をはじめとする中世絵図研究

- 岩橋清美 准教授
日本近世史／社会経済史、文化史、地域史
- 江川式部 准教授
中国中世史／祭祀儀礼制度史・文化史
- 柴田紳一 准教授
日本近現代史／近現代日本の政治・外交・軍事
- 多和田真理子 准教授
日本教育史、教育学／近代地域教育史
- 手塚雄太 准教授
日本近現代史／近現代日本の政治・経済・社会・地域史
- 山崎雅稔 准教授
日本古代史、朝鮮古代史／日朝関係史、東アジア交流史、歴史教育

専門教育科目構成

○数字：単位数

	1年次	2年次	3年次	4年次
基幹科目	史学入門Ⅰ②・Ⅱ② 史学導入演習Ⅰ② 史学導入演習Ⅱ②	史学基礎演習Ⅰ②・Ⅱ②	史学展開演習Ⅰ②・Ⅱ② 演習・卒業論文⑧	史学応用演習Ⅰ②・Ⅱ②
コース別基幹科目	概論科目	日本史概論Ⅰ②・Ⅱ② 東洋史概論Ⅰ②・Ⅱ② 西洋史概論Ⅰ②・Ⅱ② 考古学概論Ⅰ②・Ⅱ② 地域文化と景観概論Ⅰ②・Ⅱ②		
	日本史学コース	日本時代史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②・Ⅴ②・Ⅵ②・Ⅶ②・Ⅷ②		
	外国史学コース	東洋地域史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②	西洋地域史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②	
	考古学コース	考古学各論Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②・Ⅴ②・Ⅵ②・Ⅶ②・Ⅷ②		
地域文化と景観コース	地域文化各論Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②	文化景観各論Ⅰ②・Ⅱ②		
総合科目		史料講読Ⅰ②・Ⅱ② 外書講読Ⅰ②・Ⅱ② 考古学調査法Ⅰ②・Ⅱ② 考古学実習Ⅰ①・Ⅱ① 地域・景観調査法Ⅰ②・Ⅱ② 史学専門講義②		
展開科目	地域から見た日本の歴史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②	有職故実Ⅰ②・Ⅱ② 史学情報処理中級②・上級② 古文書学Ⅰ②・Ⅱ② 史料管理・保存論Ⅰ②・Ⅱ② 文化財行政論② 考古学② 文化財科学② 地域文化資源論② 地域文化財資料論② 絵図古地図研究② 環境史・災害史② 日本文化史Ⅰ②・Ⅱ② 美術工芸史② 外国考古学Ⅰ②・Ⅱ② 文化人類学Ⅰ②・Ⅱ② 人文地理学② 自然地理学② 地誌学②		
	東アジア史Ⅰ②・Ⅱ② 江戸東京の歴史② 渋谷の歴史② 史学情報処理初級②			
関連科目	倫理学A②・B② 日本美術史A②・B② 宗教学Ⅰ②・Ⅱ② 政治学概論② 統計入門②	哲学概論A②・B② 国際政治A②・B② 社会経済学② 社会保障論② 財政の基礎② 金融の基礎② 憲法ⅠA②・ⅠB② 現代日本経済② 経営史②	社会学A②・B② 心理学A②・B②	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。



哲学科

西洋哲学思想の研究を中心に、インド・中国・日本の思想や、美と芸術をめぐる理論的考察などについて、総合的に学修します。学生諸君の知的興味に応えるべく、あらゆる事柄を考える対象にして、多様なものの見方を学びます。3年次には「哲学・倫理学」「美学・芸術学」のいずれかのコースを選びます。

〔幻燈写心観 洋行〕楊洲周延（國學院大學博物館所蔵）



哲学科
藤澤 紫教授

哲学科4年
老田 彩乃さん

対談

期待される 深く考え議論する力の醸成

（学年は取材時のもの）

藤澤 哲学科の最大の特徴は、「哲学・倫理学コース」と「美学・芸術学コース」の2コースを用意していることです。3年次にそれぞれの興味や目標などに応じてコースを選ぶのですが、それまでに共通する授業を受け、何を学びたいかをじっくり考えられるのも魅力です。また、個性的で熱意に溢れた先生方がそろっており、まさに「彩り豊か」なイメージの学科と言えるでしょう。西洋哲学やインド哲学、西洋美術史、日本美術史、さらにはジェンダー論など、学生のあらゆる学びの欲求に応えられる体制を整えています。

老田 私はまさに、3年次まで専攻コースを決めることなく色々な学びを体験できる利点を有効に活用した一人です。高校時代から演劇や音楽に興味を持っていましたが、倫理の授業を通じて哲学の面白さにも気づき、大学の志望学科を絞り込めずにいました。だから入学後にコースを決められる國學院の哲学科は私にとって打って付けだったのです。この仕組みを存分に活かし、最初のうちは哲学と美学系の履修割合はほぼ半々という感じでしたね。

藤澤 時間をかけて「これ！」というテーマにたどり着くかたも多いですね。さらに嬉しいポイントは、哲学科で学ぶと自分の意見を咀嚼して他人に伝える能力を養え、ディベート力も高められるということです。特定のテーマで教員、学生らで意見交換する機会が多く、自分にとって有益な意見は取り込み、納得し難い意見なら互いに分かり合う道を探ろうとするからです。深く考える鍛錬とともに、意見の発信力や説得力も自然と高まっていくというわけです。このことが、これからの厳しい時代を生きていくうえでの大きな力になるのは言うまでもありません。

老田 哲学科というと書物を黙々と読んでいるイメージがありますが、実際にはレポートを作成して発表し、仲間から意見を

聞くなど、自らアクションを起こさなければならないことが多く、おのずと頻繁に議論もするようになります。私は最終的に藤澤先生の日本美術史の授業を受けたのをきっかけに美学・芸術学コースを選択し、浮世絵と中国思想に関する卒業論文を書き上げ、優れた論文として発表の機会もいただきました。

藤澤 浮世絵は、作品としての素晴らしさもさることながら、江戸のメディアとも言うべき情報性も有しています。そこには、「人はなぜ飾るのだろうか」といった根本的な疑問や、絵師、彫師、招師らの匠が生み出す作品群の読み解きなど、数々の研究テーマが内包され、それらはまさに人々の営みを探ることにほかなりません。ここに学問としての面白さがあるのです。

●哲学科を漢字一文字で表すと…



彩 「もの」や「人」との関わりから生じる気付きが研究の種になります。幅広い専門分野を有する教員や、様々な指向性を持った友人との出会いの中で見つける研究テーマは、きっと人生をより鮮やかに彩るでしょう。



広 哲学科には哲学・倫理学コースだけでなく、美学・芸術学コースもあり、学生の研究対象も美に幅広いため

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- 哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- 文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

入学者選考の観点

[AP1] 現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。

[AP2] 自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。

[AP3] 哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「国語総合（現代文）」「コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「英語表現Ⅰ、Ⅱ」を身につけ、さらに「倫理」「現代社会」「政治経済」「世界史B」「日本史B」「美術Ⅰ」「音楽Ⅰ」「地理A」「地理B」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」およびそれに相当する教科を一つ以上履修していることが望まれます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程 V方式	個別学力試験 大学入学共通テスト	◎	○		高等学校で履修する科目について、高等学校卒業相当の知識を持つ学生を受け入れます。
公募制自己推薦（AO型）	調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を強く持つ者を受け入れます。
	レポート	○	◎	○	
	活動レポート		○	◎	
	自己推薦書		○	◎	
	課題図書に基づく小論文試験	○	◎		
系列三高校推薦	調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学系列三高等学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	◎	
	資格・検定試験の成績	◎			
	推薦書	○	○	○	
協定校推薦	調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学から依頼した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	◎	
	資格・検定試験の成績	◎			
	推薦書	○	○	○	
指定校制推薦	調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学が指定した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	◎	
	資格・検定試験の成績	◎			
	推薦書	○	○	○	
院友子弟等特別選考	調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ全国の院友（本学卒業生等）子弟等を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	◎	
	課題図書に基づくレポート	○	◎		
	課題図書に基づく小論文試験	◎			
社会人特別選考	調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	自己推薦書		○	◎	
	レポート	○	◎	○	
	小論文試験	○	◎		
学士・一般編入学	小論文試験	○	◎		哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	
	面接試験	○	○	◎	
外国人留学生	志望理由書		○	◎	外国籍であり、日本留学試験で所定の成績を修め、かつ哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	日本語小論文	○	◎		
	面接試験	○	○	◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 — 自分の資質や関心に応じて二つのコースを自在に行き来する

「世界は本当に私に見えているような世界なのか」「時間に始まりや終わりはあるのか」「死はどんな場合にも悪いことか」「歴史は進歩のプロセスか」「科学と疑似科学の違いは何か」「美しいものは誰にとっても美しいのか」「芸術と芸術でないものの違いはどこにあるのか」——これらはいずれも哲学が久しく取り組んできた問いです。答えは今も出ていません。でも、諦めずに今なお問われ続けているのは、これらの問いが、いつの時代の人にとっても放っておけない切実な関心事であるからに違いありません。そこから、現在の問題と取り組むものでありながら歴史に問い尋ねることに大きな意味があるという、哲学の不思議な、面白い特徴が生まれます。

國學院大學の哲学科の特色は、二つあります。

一つは、**哲学・倫理学コース**と**美学・芸術学コース**の二つのコースからなっている（学生は3年次にコースを選択する）ことです。文学部に属してはいますが、哲学は、文系・理系・芸術系すべての人の関心をカバーできると称する**欲張った学問**です。他大学では哲学科・倫理学科・科学哲学科・美学科・美術史学科などに分かれて勉強することを、学科の区別から自由に、総合的に学べる場——それが、國學院大學哲学科の特色です。なお、哲学・倫理学コースと美学・芸術学コースのどちらかを選択するということは、どちらか一方しか学ぶことができないことを意味するものではありません。

もう一つの特色は、現代の問題に歴史に目配りしつつ取り組むことをめざす、**歴史と現代の絶妙なバランス**にあります。**哲学・倫理学コース**では、三人の教員がそれぞれ英米・独・仏をフィールドとして近・現代の哲学を講じる一方で、古代ギリシア哲学とインド哲学を専門とする二人の教員が哲学の始まりにまで遠く歴史を遡る思索を繰り広げます。ですから、ギリシア語、ラテン語、サンスクリット語といった古典語も学ぶことができます。

美学・芸術学コースでは、美しさについて理論的に考察しつつ現代芸術の新たな動向を、ジャンルを問わず旺盛な関心をもってフォローすることができると同時に、西洋・東洋の美術の歴史に学び、美の歴史的宝庫に深く沈潜する研究が可能です。



授業紹介

基礎演習 I A・B

1年生のための哲学の導入科目で、さまざまなテーマで講義されています。例えば、福沢諭吉の『学問のすゝめ』を教材にして、幕末維新に日本の大変革を担った人が、西洋から何を吸収定着しようとしたのか、そのスリリングな辛苦に密着するとともに、西洋の言語を日本語に置き換える感性と理性のありさまをじっくりと考究する授業があります。

日本美術史 A・B

海外でも評価の高い日本の美術、その魅力はいたどこにあるのでしょうか。この講義は、日本の美術や伝統文化に興味を持ち、それらを「見たい・知りたい・楽しみたい！」と感じる受講生に向けた授業です。「浮世絵とメディア」「アニメーションや漫画の源流」「美術と国際交流」「展覧会の現在」などの身近な観点から、その特質に迫ります。授業の前半はテキストやレジュメを用いた基礎学習、後半はパワーポイント等のビジュアル機器を活用した応用学習になります。簡単な工作も交えて体感的に学びますので、一緒に日本美術の豊かな世界を楽しみましょう。



倫理学 A・B

「良い」「悪い」という性質について、しつこく考えます。例えば、「善い人の人生は「よい人生」か?」「死は「悪い」ことか?」。さらに、「すべての人がすべての人を愛すべきか?」「男は強く、女は優しくあるべきか?」「自由と理性は対立するか?」「[「できる」こと、「したい」こと、「すべき」ことの関係はどうなっているのか?」「[「アイデンティティ」ってよいものか?」「日本人は不幸な国民か?」という具合に、問いはぞろぞろ出てきて、考えだすと止まらなくなります。

哲学概論 A・B

哲学概論 A・B では、存在とは?自由とは?時間とは?知識とは?心とは?言語とは?などのさまざまな哲学的問題について考えます。哲学者や哲学の歴史ではなく、あくまでも問題を中心に置いてさまざまな議論を概観しつつ、答えを探していきます。



西洋哲学史 I A・B

古代ギリシアにおける愛智(ピロソ피아)の精神、および中世キリスト教哲学へと結び付くその思想史的展開を学びます。西洋の豊かな知の源流へと遡り、「存在」への問いを共有するところからあなた自身の哲学の探求が始まります。また西洋思想を理解する上では欠かせない神の概念についても丁寧に読み解いていきます。

応用倫理学 A・B

単なる区別と差別の違いは何なのか? 寄付をしないことは悪いことなのか? — 性差別や性的マイノリティへの差別、出生前診断や死刑の是非、報道倫理や貧困・難民問題などについて、流布している誤解をうのみにせず、反対意見を理解しながらとことん「自分の頭で考える」ことを目指します。

西洋美術史 A・B

「西洋美術史」では、ルネサンス以降、第一次世界大戦以前までのヨーロッパ美術の流れを学びます。15世紀から20世紀初めにかけてのこの期間に、西洋美術は中世キリスト教美術から大きく展開し、人間と現実をいかに表現するかという大きな課題に挑んできました。500年間におよぶ美術の歩みを、作品のみならずそれを生み出した社会・思想・文化的背景をも考えながら辿ります。毎時、多くの作品や文献資料を用いるので、その中から今日の芸術につながる表現やテーマを見つけましょう。時代によって美術は表現方法やテーマを変えてゆきますが、そこには「造形表現とは何か」「人間は芸術に何を託すのか」という普遍的な問いかけが潜んでいます。デジタル化が進んだ今日、イメージは人間社会に多様な動きかけします。イメージと人間との関わりも学んでゆきましょう。

専任教員

- 金杉武司 教授
西洋現代哲学、英米哲学／心の哲学
- 木原志乃 教授
西洋古代哲学／古代ギリシア医学思想史
- 小池寿子 教授
西洋美術史／キリスト教中世美術／死生観

- 藤澤紫 教授
日本美術史／江戸文化論／比較芸術学
- 藤野寛 教授
西洋近現代哲学、倫理学／ドイツ現代思想
- 小手川正二郎 准教授
西洋近現代哲学／現象学

- 渡辺俊和 准教授
インド哲学／仏教認識論・論理学

専門教育科目構成

○数字：単位数

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基幹科目	演習・卒業論文	基礎演習 I A②・I B②	基礎演習 II A②・II B②	哲学演習④ 美学・芸術学演習④ 卒業論文⑥	
	共通科目	西洋哲学史 I A②・I B②			
		倫理学 A②・B② 論理学 A②・B② 芸術学 A②・B②			
	哲学・倫理学系科目		哲学概論 A②・B② 美学 A②・B② 日本哲学 A②・B②		
		西洋哲学史 II A②・II B② 日本思想史 A②・B② 中国思想史 A②・B②			
	美学・芸術学系科目		インド思想史 A②・B②		哲学特殊講義 I A②・I B②・II A②・II B②・III A②・III B②・IV A②・IV B②
日本美術史 A②・B②		東洋美術史 A②・B②			
展開科目		西洋美術史 A②・B②		美学・芸術学特殊講義 I A②・I B②・II A②・II B②・III A②・III B②	
	ギリシャ語 I ②・II ② ラテン語 I ②・II ② サンスクリット語 I ②・II ②	ギリシャ語 III ②・IV ② ラテン語 III ②・IV ② サンスクリット語 III ②・IV ② 科学哲学 A②・B②	応用倫理学 A②・B② 現代哲学 A②・B② 宗教哲学 A②・B② キリスト教概論 A②・B② 仏教概論 A②・B②		
関連科目			言語論 A②・B② 比較思想 A②・B② 比較芸術学 A②・B②		
	日本史概論 I ② 東洋史概論 I ② 西洋史概論 I ② 宗教学 I ②・II ②	人文地理学② 自然地理学② 地誌学② 憲法 I A②・I B② 国際法の基礎② 国際政治 A②・B② 国際経済② 社会保障論② 社会経済学② 公共部門と財政②	心理学 A②・B② 国際紛争処理法② 政治学概論② 社会学 A②・B②		

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

日本文学科

3年 大金 杏菜さん

(学年は取材時のもの)

Q 所属する学科で学んでいること（専攻分野）を教えてください

主に、伝承文学と呼ばれる口頭で伝えられてきた文芸（口承文芸）と現代における口承文芸の扱われ方を学んでいます。その中でも自分は、世界の吸血鬼（血を吸う以外にも色々居る）を比較、研究しています。それぞれの文化を知ることが目的です。その研究のために、口承文芸の研究方法も学んでいます。

Q この学科の魅力と特色をあげるなら？

とにかく様々な分野を学べるのが特色であり魅力ではないでしょうか。日本文学、日本語学、伝承文学という大きな3本の柱はありますが、それ以外にも多くの事を学べます。和歌、小説、詩を書いたり、能や落語の実践、京劇の鑑賞など日本だけにとどまらない文化を学びます。また、その文化を海外にどの様に伝えるかも学ぶことができます。

Q この大学に入って成長したなと感じる瞬間について

1年生の自分は、日本史をほとんど学んでいなかった事もあり、日本文学科の一員としては、無いに等しい程、古典の知識がありませんでした。しかし、大学の授業を受ける中で、自分の学んでいる授業がそれぞれ繋がっていく瞬間が増え始めました。それが段々と広がっている事を感じた時に、知識以外にも得ているものがあると感じました。

日本文学科を象徴する「漢字ひとつ」は…

色 研究対象が広く、様々な分野とも関連があり、それにより自分の色を表現できると思うからです。

Q 在学中にやりたいことや将来の目標はありますか

将来は様々な人が楽しく過ごせる図書館を作りたいと思っています。在学中には司書の資格を取得することはもちろん、様々な物事に触れる事を目指しています。自分の学科、学部に限らず神道や経済、法律、また新たにできる観光まちづくり学科など広い範囲からたくさんの授業を受けたいと考えています。

Q この学科を目指す受験生へのアドバイスをお願いします

入学前に話が面白そうな先生を大学で探すと、自分の目的が明確になり、進みたい進路が明確になると思います。自分は、日本文学科の飯倉義之先生が大好きで、先生の授業を受けるために國學院大學に入学しました。3年生までの間に先生の授業はすべて取り終えてしまいましたが、サークルの顧問をして頂いたり、充実した大学生活を送っています。



学内の **お気に入りスポット** 紹介

みちのきち（学術メディアセンター）

とにかく居心地が最高です。本に囲まれて過ごせる時間はとても幸せを感じます。

中国文学科

3年 及川 佳那さん

(学年は取材時のもの)

Q 所属する学科で学んでいること（専攻分野）を教えてください

文学や、語学などの中国文化を学んでいます。私はその中でも中国語教養プログラムを専攻し、オンラインではありましたが、セメスター留学を行いました。セメスター留学では、現地の授業を受講することで、実践的な語学力を学ぶことができました。加えて、卒業論文のテーマとして現代中国文学を専攻しています。



Q この学科の魅力と特色をあげるなら？

授業の内容において、深い理解を必要とするため、時には仲間との協力が不可欠になるので、学科内の仲がとても良いことです。また教授の専門性が高いので、授業の質が高いことや授業の内容が難しいので、多くの知識が必要で、一人で向き合う時間も、学びがいがある点も魅力です。

Q この大学に入って成長したなと感じる瞬間について

様々な視点から考え、その中から適切なものを選び抜く力が身についたと感じます。漢詩や、漢文を読み解くにあたって、漢字を調べる際に前後の文脈からその漢字一文字の、一番適切な意味を選び抜くということが求められたので、その力が身についたと思います。

中国文学科を象徴する「漢字ひとつ」は…

深 図書館に通って深くまで調べることが必要。深くまで学ぶことができる。学科内の関係性が深い。

Q 在学中にやりたいことや将来の目標はありますか

HSK 5級を取得したいです。6級まで取得することが将来の1つの目標です。また、コロナの影響により現地の中国に留学することができなかったため、将来中国で短期間でいいので生活してみたいです。

Q この学科を目指す受験生へのアドバイスをお願いします

国語力がかなり必要なので、国語を勉強しておくといいと思います。漢文が得意でなくても、一年生の授業で一から勉強することができるので、安心してください。決して楽な学科ではないですが、大学生になっても貪欲に学び続けられることはとても貴重なので、学ぶことが好きな人にはおすすめです！

学内の **お気に入りスポット** 紹介

フリースペース（2号館4階）

夜までそこで勉強していると、東京タワーのライトアップが綺麗で、やる気がでます！

外国語文化学科

4年 室田 千里さん

(学年は取材時のもの)

Q 所属する学科で学んでいること（専攻分野）を教えてください

外国の言語と文化を軸に学んでいます。言語については英語と第二外国語のフランス語などの習得を中心に、文法や発音などの仕組みを学ぶ言語学についても学んできました。文化については日本とヨーロッパの文化を比較をしながら日本とヨーロッパ両方への理解を深める比較文化をメインとして学んでいました。

Q この学科の魅力と特色をあげるなら？

学びの幅が広く、自由なところが特色であり魅力だと思います。外国語文化学科では英語を強化するのか、文化と言語をバランス良く学ぶのかなど何に力を入れて学ぶのかをかなり自由に決めることができます。私はその中でも言語学や神話などなかなか触れる機会のないものについても力を入れて学べるところに特に魅力を感じました。



外国語文化学科を象徴する「漢字ひとつ」は…

広

学びの幅が広く、広い世界を見ることができ、広い視野を身につけることができるからです。

Q この大学に入って成長したと感じる瞬間について

外国語の文献や記事を読んで理解ができた時です。これまで國學院で様々な言語に触れてきましたが、どれも最初は理解するのに苦戦していました。その中で文字や単語、文法などの見える意味はもちろん、特に言葉と言葉の間にあるぱっと見では見えない意図を理解できた時は嬉しく成長を実感します。

Q 在学中にやりたいことや将来の目標はありますか

卒業し、社会人になった後も語学と文化の勉強を続け仕事に活かすことが目標です。卒業後は専門学校の職員として働くのですが、留学生の方への対応や広報活動で語学力や文化への理解があるとできることが広がると思うので、勉強を続けて今以上に力をつけ、そういった場で活躍できる人になりたいです。

Q この学科を目指す受験生へのアドバイスをお願いします

英語の基礎を固めておくことがオススメです。大学に入ってから英語の基礎を学びなおすことはできますが、高校生のうちにある程度ベースを作っておくと受験においてプラスになることはもちろん、外国語文化学科に入学した後も安心して授業に臨むことができるし、さらに豊かな学びができるのではないかと思います。

学内の お気に入りスポット 紹介

自習スペース (総合学修館6号館)

静かで明るく、机も他の自習スペースに比べて広めなので、集中して勉強できるからです。

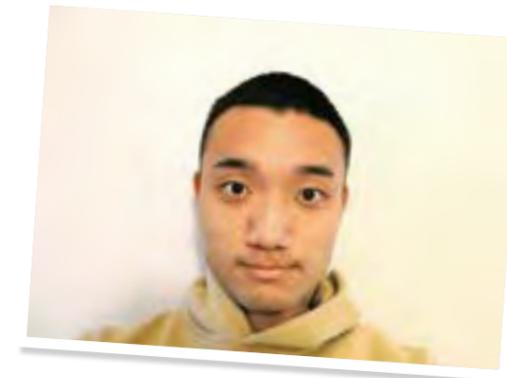
史学科

3年 油井 武蔵さん

(学年は取材時のもの)

Q 所属する学科で学んでいること（専攻分野）を教えてください

私は史学科の地域文化と景観コースに所属し歴史地理学を専攻しています。このコースでは主に東京の地形の特色や江戸東京の都市景観の変遷などについて勉強しています。また、ゼミでは古地図や地図を用いた多彩なフィールドワークなども展開され、訪れる土地の歴史や文化について自分の肌で体感的に学ぶことができます。



Q この学科の魅力と特色をあげるなら？

史学科の魅力は、他大学にはないマニアックすぎる講義が豊富に用意されている点にあると思います。國學院の史学科では一般的な歴史の授業以外に食文化や伝統祭礼について学べる一風変わった講義がカリキュラムの中に組み込まれていることによって様々な分野の色々なことに興味を持つことができ、学びの視野を広げることができます。

Q この大学に入って成長したと感じる瞬間について

私が國學院に入り成長を実感したのは図書館で本をたくさん読むようになったことで様々な分野の学問に興味を抱くことができたことです。國學院大学には160万冊以上の蔵書数を誇る立派な図書館があり、書棚にぎっしりと陳列された多種多様な分野の書籍を手に取り読むことで新たな知の発見や学びに出会い、本を読むことの楽しさを気づかせてくれました。

Q 在学中にやりたいことや将来の目標はありますか

できるだけ多くの街を訪れ、街を歩き、街の歴史や文化について知識を深めていきたいと考えています。実践や行動を大切に、座学だけでは足りない部分を個人的なフィールドワークを通じて体得し、街歩きの魅力や楽しさについて多くの人に発信していきたいと思っています。

Q この学科を目指す受験生へのアドバイスをお願いします

國學院の史学科では歴史はもちろんのこと歴史以外の様々な分野についても専門的に学ぶことができます。史学科で展開される様々な講義を通じて新たなことに興味を抱き、今まで自分では気が付かなかった意外な発見に出会うことができます。歴史を学ぶには最高の環境である國學院史学科と一緒に最高の大学生活を過ごせるのを楽しみにしています！

史学科を象徴する「漢字ひとつ」は…

個

個性豊かな教授と学生が集い、いろいろな個性を持った人に出会える学科です。

学内の お気に入りスポット 紹介

5号館屋上 (130周年記念)

5号館の屋上は開放感があり、渋谷や六本木の街並みを一望することができるおすすめスポットです。

哲学

3年 石原 修司さん

(学年は取材時のもの)

Q 所属する学科で学んでいること (専攻分野) を教えてください

専攻は哲学・倫理学で、その中でも特にスコットランド啓蒙と呼ばれる分野を学んでいます。この分野では、経済学の大家であり、「見えざる手」で知られるアダム・スミスが道徳哲学の思想家として登場します。また、第二外国語で学んだフランス語を活かし、3年生の間に仏検3級を取得しました。

Q この学科の魅力と特色をあげるなら?

哲学科の魅力は、選択肢の広さにあります。メジャーな古代西洋哲学はもちろん、英米やドイツの哲学、さらには東洋思想や日本思想も専門的に学べます。また、哲学科は哲学・倫理学を学ぶだけでなく、同じくらい専門的に美学・芸術学を学ぶこともできます。この点が本學哲学科の特色だといえます。

Q この大学に入って成長したなと感じる瞬間について

成長を感じる瞬間は、謙虚な姿勢をもてるようになったと感じるときです。ときおり「無知の知」という言葉が古代の哲学者の考え方として紹介されますが、自分の未熟さを自覚しているときにこそ、哲学科生としての成長を感じます。まだまだ成長の余地のある未熟な身ですが、その未熟さを自覚できる程度には成長しているのだと思います。

哲学科を象徴する「漢字ひとつ」は…

問 哲学とは、「問いを立てる」ことからスタートするものだといえるからです。

Q 在学中にやりたいことや将来の目標はありますか

在学中にやりたいことは、所属する哲学サークルの活動を哲学科全体にとって役立つものにする事です。具体的には、必修授業でもある、西洋哲学史の勉強会のようなことをしていきたいです。将来は、哲学に携わりながら、その成果を世の中に還元したいと考えています。そのため、「哲学を世の中の役に立てること」が将来の目標です。

Q この学科を目指す受験生へのアドバイスをお願いします

哲学科に入ると1・2年生の間は広く哲学を学び、3・4年生になるにつれて専門性が高くなっていきます。そのため、1・2年生の間はそれほど興味のない分野についても学ぶ必要があります。そういった授業こそ、力を入れて受講することをおすすめします。なぜなら、興味のある分野を自発的に学ぶことはあっても、その逆はあまりないからです。また、満足のいく卒論を書くためにも1年生のときから広く深く学ぶことをおすすめします。



学内の お気に入りスポット 紹介

5号館屋上 (130周年記念)

晴れた日は夕焼けに照らされた渋谷がきれいに見えます。

うちの学科のすてきな先生

(学年は取材時のもの)

日本文学科 吉田 永弘先生

日本語の文法の歴史がご専門の吉田永弘先生です。学生に対して丁寧に接して下さる優しい先生です。画像は狂言「佐渡狐」に出てくる鳴き声です。どちらも身近な鳥ですが何の鳥かご存じですか。答えはネットで公開されている先生の随筆「狂言を観る・狂言を読む」にあります。ユーモア溢れる内容なのでぜひご覧になってください! (3年 佐藤友迪さん)



中国文学科 浅野 春二先生

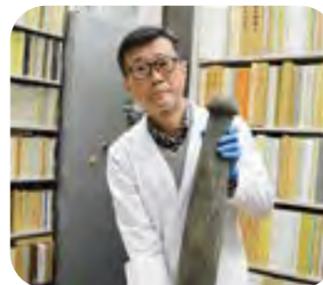
浅野春二先生ご担当の中国禮俗文化研究会では、漢文で書かれた道教の特色がある文献を読んでいます。漢文が苦手でも漢文を読むことが好きになるのではないかと思います。また研究会だけでなく、浅野先生のご担当の授業では中国における道教の儀礼文化や道教の不思議な世界観を学ぶことができます。

(3年 岩本まひろさん)

外国語文化学科 宍戸 節太郎先生

宍戸節太郎先生は、親戚の叔父さんのような和やかな雰囲気を持ち、研究室へ行った際にはいつもにこやかに迎え入れてくれます。先生の講義は授業内容に関する知識や雑学のお話が豊富で、また受けたい、もっと知りたい、と思う講義です。もし何か質問があれば、ぜひ研究室へ行ってください。HARIBOを用意して待ってくださっているはずですよ。

(4年 角田佳子さん、渡邊実莉さん)



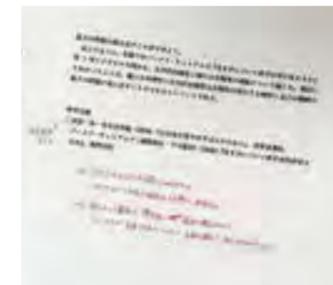
史学科 谷口 康浩先生

私が一押しする先生は谷口康浩先生です。先生は縄文時代の考古学がご専門で、研究だけでなく発掘調査の経験も豊富な先生です。その経験に基づいて、卒業論文の組み立てや発掘調査の方法と意義についての確に指導して下さります。考古学に関することには厳しいですが、普段は冗談を言って場を和ませて下さったり学生の体調や進路を案じて下さる優しい先生です。本気で考古学を学びたいのであればこの上ない先生だと思います。(3年 竹村侑祐さん)

哲学科 小手川 正二郎先生

私がご紹介する先生は、フランス近現代哲学と現象学がご専門の小手川正二郎先生です。議論が行き詰まった際に学生の意見を汲んで導いて下さる優しい先生です。先生の授業では、大学では珍しく提出したレポートに添削して頂けます。先生から直接アドバイスを頂ける機会は大変貴重で、勉強になっています。また、先生には小さなお子様がいて、ベビー麦茶をお飲みになっているところが親しみやすく、魅力的です!

(3年 山口真央さん)



國學院大學文学部は今日まで多くの人材を教育界に送り出してきました。本学の教職課程は教育職員免許状の取得をめざす学生を対象とする資格課程であると同時に、現代の学校や社会のかかえるさまざまな教育問題に主体的に取り組むことのできる個性豊かな人間の育成をはかるための教育を行っています。

◆ 教職課程とは

日本の現在の教員養成は、教員養成系大学・学部とそれ以外の一般大学における教職課程の二本立てで行われています。後者は、教員養成に特化した機関ではなく、広く大学教育全体の中に教員養成を位置づけるシステム（「開放制教員養成制度」と呼ばれる）であり、本学は、長年、このシステムによって多くの教員を輩出してきました。

◆ 取得できる教員免許状の種類及び教科

本学では、中学校・高等学校・幼稚園・小学校及び特別支援学校教諭の一種免許状が取得できます。文学部で取得できる「基礎免許」の種類及び教科は、学科ごとに下表に示すとおりですが、所定の条件を満たすことにより、下表の「副免許」や「異なる学校種の副免許」特別支援学校教諭免許を取得することも可能です。

適用される教育職員免許法の条項により、必要となる科目区分や単位数は異なります。

▶ 免許の種類

		学科	日本文学科	中国文学科	外国語 文化学科	史学科	哲学科
中学教諭	1種	国語	●	●			
		英語	□	□	●	□	□
		社会	□	□	□	●	●
		保健体育	□	□	□	□	□
高等学校教諭	1種	国語	●	●			
		書道	○	□			
		英語	□	□	●	□	□
		地理歴史	□	□	□	●	□
		公民	□	□	□	□	●
		保健体育	□	□	□	□	□

●：基礎免許① ○：基礎免許② □：副免許

▶ 教職課程単位修得者数 (令和2年度)

		日本文学科	中国文学科	外国語 文化学科	史学科	哲学科	
中学教諭	1種	国語	71	6	—	—	
		英語	0	0	13	0	0
		社会	1	0	0	53	6
高等学校教諭	1種	国語	75	6	—	—	—
		書道	10	0	—	—	—
		英語	0	0	14	0	0
		地理歴史	1	0	0	57	7
		公民	0	0	0	36	7

◆ 卒業生紹介 ◆

※勤務先は取材時（平成29年）のもの



井上 友美子 さん 東京都立中学校教諭（国語科）

日本文学科 平成29年卒業

理想の教師とは何でしょうか。私は“子供たちのために行動できる教師”だと思っています。國學院大學には、教職を目指す志の高い仲間・支えてくださる先生がたくさんいて、この答えを導くことができました。教職課程を1年次より履修、2年時からは教職総合ゼミナールに所属し、採用試験の勉強だけでなく実践力を身につけました。どんな授業も経験も、子供たちのため。そう考えると学びはさらに鮮やかになり、惜しみなく努力することができました。現在、中学1年の担任・部活動顧問をしていますが、この思いは変わりません。子供たちのために誠実に行動すれば、必ず応えてくれる、と強く感じています。これからも大学での学びを生かしながら、目の前の子供たちのために授業をつくり、かける言葉を考えていきたいと思っています。



河野 佳代子 さん 埼玉県立高等学校教諭（芸術科 書道）

日本文学科 平成25年卒業

私は現在、高等学校芸術科の書道の教員として公立高校に勤務しています。現在は2年次担任、書道部顧問として、生徒たちと共にとても濃い日々を送っています。

大学時代は、書道研究会に所属し、先生方の熱心な御指導の下、主に仮名古筆を中心に、臨書をしたりそれを活かして和歌を做書したりと、何事も楽しみながら書に取り組んでいました。いざ教壇に立つと「書は上手下手で決まるのでは?」「自分にはできないのでは?」など、書に抵抗感を覚える生徒が多いのが現状です。だからこそ、生徒に書を教える立場となった今、いつも念頭においていることが書を楽しむということです。生徒に、書を通して、できるという発見や喜び、楽しさを感じてほしいと思っています。好きなことを仕事にできている喜びを感じながら教材研究に取り組み、自分自身も向上できるように努めていきます。大学での出会いや経験、そして書を通して培った継続力や忍耐力は今の私の大きな支えです。卒業後も心強い繋がりを持つことができ大変嬉しく思っています。



後呂 知美 さん 埼玉県立中学校教諭（英語科）

外国語文化学科 平成28年卒業

漠然と資格を取ろうと思って、教職課程を取ろうと考えている人は時間的にも金銭的にも負担がかかるので考え直してもいいかもしれません。学校現場で仕事をして感じたことは、想像以上に時間がないということです。これから大学に通われる皆さんには時間がとれる大学生の間に教員の仕事について深く学び、教科の専門性を高めることに努めてほしいと思います。

いずれにせよ、教員の仕事は毎日が勝負です。毎日の授業をしつつ、明日、1週間後、3年後の卒業をイメージしながら指導をしていく必要があります。大変だと思うこともありますが、日々成長していく生徒と関わることにこの上ない喜びを感じています。

大学で何をするかは自分次第です。自分の進むべき道を模索してみてください。



神谷 悠紀 さん 東京都立板橋有徳高等学校教諭（地理歴史科）

史学科 平成29年卒業

教職課程を履修するなかで、「教える」だけではなく「育む」ことが重要であることを学びました。私は、大学1年次より、出身高校の部活動の外部指導に取り組んでいました。大学で学んだ知識や理論を、実際に生徒と触れ合いながら実践することで、教育するというものの理解を深めていきました。また、教育実習では、実際に授業を行うことで、「勉強する」と「教える」との違いを学び、自分自身の未熟さを実感しました。

教員になるためには、教えられるのを待つのではなく、自ら学ぶことが何より大切だと思います。大学生活4年という時間を無駄にせず、少しでも多くのことを学んでいけるよう頑張ってください。



品田 直希 さん 東京都立高校教諭（公民科）

哲学科 平成29年卒業

教職課程は、入学して間もない1年次から4年間かけて継続的に履修します。卒業に必要な単位のほかに、教員免許状取得のために相当数の単位を取得しなければなりません。また、教員になるために必要なのは講義だけでなく、2年次の介護等体験、3年次から始める採用試験の対策、4年次に行われる教育実習と採用試験本番を経て、計画的に自らの資質・能力を高めていくということです。長期的な過程であるからこそ、計画性はもちろん、何より「教員になりたい」という強い気持ちが大切だと思います。

私の大学生活を振り返ってみると、哲学科のカリキュラムと教職課程の他、副専攻の履修、体育会（部活動）、アルバイト、採用試験の対策など、とても充実したものでした。「高校公民科の教員として採用される」というのは、他教科・他校種と比べて採用数が著しく少ない荊の道です。しかし、それを乗り越えられたのは、哲学科で「考える力」を身に付け、常に自分自身と向き合いながら、信念を貫き通したからこそその結果だと思っています。

教員を目指して－卒業生へのインタビュー

東 知輝さん

(中国文学科 令和4年3月卒業)

教職を目指すことに決めた理由は？

中学校時代に恩師となる先生に出会うことができ、その先生のご指導で自分が充実した学校生活を送ることができました。私もこのような先生となって生徒に充実した学校生活を送ってほしいと思い教師を目指しました。

國學院大學を選んだ理由は？

これまでに多くの教師を全国に輩出している実績から、自分が教師になるための近道になるのではないかと考えたからです。教職の講義を担当していた先生方をはじめ、教職センターの支援が充実しているため、國學院大學を選んで良かったと感じています。

國學院大學の教職支援について、一番印象に残っていることは？

教師として教壇に立つものとしての心構えなど、教員になるうえで必要なことを多く学ばせていただいたことです。また企画の中で採用試験に合格された先輩方の再現演習を見て、来年には自身もこのようにならなければいけないと強く感じ、より一層採用試験に向けて準備を進めました。

國學院大學に入学して成長したなと感じる瞬間は？

入学当初は読むことができなかった漢文も少しずつ読むことができるようになったことや教職を目指していく中で生徒とどのように関わって行かなければいけないのか。教育実習中に講義で学んだことを生かすことできた瞬間です。



(教職センター資料室コーナー)

どのような教師像を描いていますか？

生徒から信頼される教員です。また、私の校種が中学校であり、中学生という思春期の大事な時間の中で充実した生活を送ることで人間として大きく成長すると考えています。自分が教師を目指すきっかけとなった先生のように生徒の学校生活が充実したものになる支援を行うことができる教師です。

教職を目指す後輩へのアドバイスをお願いします

教職をそのまま続けるか、一般に変えるか必ず自身の進路について迷う時期が来ると思います。そんなときは自分がどうして教員になりたいのか、その原点をもう一度振り返ってください。

教員採用候補者選考試験支援奨学金制度

「教員採用候補者選考試験支援奨学金制度」は、各試験に向けた準備のため、本学が指定した講座（セミナー）に参加した学生に対して、講座等の受講費を支援する学内奨学金です。

受給対象者は、教職課程履修者の学部学生3年生以上（子ども支援学科生は2年生以上）で、成績上位の者。教員採用試験を受験し、本学の指定する講座等を受講する者です。採用者は、本学指定の講座等の受講料及び教材費相当額が支給されます。

博報教職育成奨学金

「博報教職育成奨学金」は、教育者及びそれを目指す有為な人材を育成し、教員または教員を目指すものとして必要な経験や専門的知識を高めていくことを目的とした奨学金制度です（博報堂教育財団ホームページより）。

受給の対象となるのは、財団が指定する「奨学生推薦依頼大学」の学部在籍する学生で、かつ小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを目指す者のうち、学内選考を経て財団に推薦された者となっています。私立大学の場合、奨学金額は年額120万円（月額10万円）、受給開始年度の4月から学部卒業まで受給されます。



様々な分野で活躍する卒業生

漫画家

近藤 ようこさん

文学部 昭和55年卒業

大学に入る目的は人それぞれで、また特に目的が決まっていなかった人もいます。私もそうでした。

ただ、せっかく大学で学ぶなら自分が好きなこと、興味のあることにしようと思っていました。それは高校までの教科書での授業では学べないことでもあります。

私は民俗学や神話学に興味がありました。授業でそういう学問に触れるのは、とても新鮮でスリリングな体験でした。

しかし、本当に勉強が必要だと知るのは卒業した後です。社会に出て仕事をしたり、趣味を極めようとしたりする時、自分に必要なものがわかってきます。

私は幸いにも、大学での勉強が今の仕事に役立っていますが、在学中にもっと積極的に勉強しておけばよかったと思っています。もちろん学生時代は遊ぶことも大事なのですが、若くてエネルギーのある間に、存分に学ぶという贅沢も味わっていただきたいと思っています。

作家

諏訪 哲史さん

哲学科 平成4年卒業／平成19年
芥川賞受賞・群像新人文学賞受賞

僕は学生時代、自分がこの長く苦しい人生を何の義務があっても最後まで生き続けてゆかなければならないのか解らず、深く悩みました。皆さんは今なぜ生きているのですか。苦しくないのですか。すでに完全な達観に至っていれば一切の苦はないでしょう。でも若い皆さんに苦しさはあるはず。その生をなぜ生きるのか。

生きると決めた後の人が、人生をより長く、より便利にするのが医学や工学です。文学はその手前で必死に息をつめて考えている孤独者に囁きかける学です。文学も、また哲学も、「生きる」というこの自分のおかれた状態、「生から死までの限りある不可解な線分」とはいったい何なのか、それに自分なりの「言葉」を与えるための知です。「生きる」を考える営みこそ、もっとも激しく生きることなのです。生を燃焼させず、この世界と格闘もせずに、ただ老いて死ぬますか。僕はできませんでした。だから文学・哲学ほか、諸芸術の扉を叩いたのです。

能楽師

森 瑞枝さん

文学部 昭和59年卒業／大学院文学
研究科博士後期課程 平成元年修了

私が國學院大學の学生になった理由は、田舎の学校や家族との生活から脱出し、自由を確保するためでした。とりあえずの所属にすぎません。國學院の魅力は、まず、立地です。なので、興味にまかせて映画を観まくり、博物館美術館を巡り、書店で眺め暮らしました。

意外にも、単位合わせの物理や生物数学など理系の一般教養科目が高校までとはまるで違って面白く、興味の幅も行動範囲も広がりました。さらに意外にも、映画美術批評でしばしば目にしてきた種村季弘氏が國學院の教授だと気づき、勝手に熱心に受講しました。そして話題に出た事から確めに図書館や街に出る。

種村氏の講義はどれも素敵な本になりました。授業は創作の現場だったので。種村先生だけではありません。大学の授業は本来、研究の前線に立ち合う場です。

大学生には金はなくとも時間はある。体力もある。時間を自分のためにつかい、自分の興味を尊重して考え動くなら、大学はあなたが自分に正直に生きてゆくための、最初の足場となるでしょう。

國學院大學には、学生が目指すキャリアに近づくための各種資格課程があります。学部教育での学びを自分の将来につなげる、資格という「かたち」にする、新しい自分の可能性を探るなど、動機はさまざまですが、自ら目標を設定し、チャレンジする学生が数多くいます。

博物館学課程

学芸員は、博物館法第4条第3項の規定に基づいて博物館に配置される専門職員で、本課程を終了すると国家試験免除で国家資格である学芸員資格を取得することができます。学芸員は、博物館資料の収集・保管・展示・調査研究や教育活動などを職務内容としています。

本学では、専ら人文科学系の博物館に必要な学芸員を養成しています。特に実習には力を入れており学芸員として赴任の直後から、具体的な実務を完全とはいかないまでも遂行できるよう、博物館資料に関する基本的な知識と技術の修得を教授することを目標としています。

なお、本学で所定の単位を修得した場合、「学芸員となるための単位修得証明書」を卒業時に交付します。

図書館司書課程

図書館法は、公共図書館の専門的職務にあたる職員を司書および司書補と定めています。

本課程では、公共図書館で働くための専門者の育成とともに、国立国会図書館、大学図書館、専門図書館などでの「司書」という職種にも活かせる資質を養成します。最近では、大型書店・書籍流通業・情報産業ならびに一般企業でも司書資格を求める傾向がみられます。本課程は、図書館資料および学術情報の選択収集・整理・保存・利用に関する専門的知識と技術の習得が中心となりますが、情報社会におけるスペシャリストとしての資質の養成も視野に入れていきます。

なお、本学で所定の単位を修得した場合、「図書館司書となるための単位修得証明書」を卒業時に交付します。

学校図書館司書教諭課程

学校図書館法には、すべての小・中・高等学校(および特別支援学校の小学部・中学部・高等部)に学校図書館を設けること、その専門的職務を掌らせるために司書教諭を置くこととされています。12学級以上の規模の学校では、この司書教諭を置くことが義務付けられています。司書教諭は、教科を担当できる教諭であるとともに、メディア・リソース・センターとして学校図書館を管理運営し、児童・生徒の読書活動と情報活用能力の育成を図り、教師の教育活動を支援することを職務内容としています。

日本語教員養成課程

この副専攻プログラムでは、日本語教育に関する知識を、言語・教育・社会・文化・地域に関わる領域から体系的に学ぶことにより、多様な日本語教育の現場に対応できる日本語教師を養成します。修了証は、日本語教育機関の教員の条件の1つに相当し、ことに、法務省が公示(平成28年7月22日策定、平成29年8月1日施行)した「日本語教育機関の告示基準」の第1条第1項第13号に定める法務省告示校である日本語学校を含む日本語教育機関における日本語教員の募集に応募することができます。

なお、日本語教員の資格については、令和元年6月28日に公布、施行された「日本語教育の推進に関する法律」に基づいて、国家資格としての「公認日本語教師」の創設のための法案の準備がなされています。

神職課程

神社本庁所属神社の神職となるためには、『定められた「階位」(神職資格)』を有することが必要となっています。本課程は、神社界で大いに活躍できる人材を養成することを目的として設置されています。

◆卒業生紹介◆

※勤務先・在籍先は取材時(平成29年)のもの



林 道義 さん 上里町教育委員会 町立郷土資料館 文化財係 主事

史学科 平成28年卒業/大学院文学研究科博士課程前期 史学専攻博物館学コース平成30年修了

私は平成28年度より、埼玉県北部の上里町立郷土資料館で文化財の保護や学芸員の仕事をしています。小さな館ですが、初めて触れる仕事に戸惑いつつも、驚きと感動に満ち溢れた日々を送っています。ところで、皆さんは博物館や学芸員と聞くと、どのような仕事を想像するでしょうか。当資料館では、館内の管理だけでなく、文化財保護に関する事務、地域の学校での出前授業、遺跡の発掘調査など、様々な業務を行っています。もちろん、仕事の内容は個々の館や自治体によって、多少異なると思います。しかし、学芸員が過去から現在の人々へ文化財の持つ価値を伝えるという点は、全国、どの館でも同様です。この仕事をするようになって以来、過去と現在を繋ぐ懸け橋になれるよう、模索する日々が続いています。



竹内 夏奈子 さん 東京海洋大学学術情報課情報サービス第二係

日本文学科 平成26年卒業

私は現在、東京海洋大学越中島キャンパス図書館に勤務しています。在学中に履修した図書館司書課程の授業は、どれも印象に残っています。

特に、レファレンス(利用者からの質問に資料を調べて回答する業務)の演習授業では、実際に図書館に寄せられた質問が毎回課題として出され、インターネット検索では十分な情報が集まらず、さまざまな資料を調べる必要があり、かなり苦戦しました。ですが、質問者が求める情報を見つけた時は嬉しく、他の学生の調べ方もとても参考になりました。この授業を通じて、膨大な情報の中から利用者の求める情報をつなぐ、架け橋となるような図書館職員を目指したい、と強く思うようになりました。

この思いは、今も大事な目標となっています。



瀧 孝平 さん 高輪神社権禰宜

日本文学科 平成27年卒業/大学院文学研究科文学専攻博士課程前期 平成29年修了

私は文学部日本文学科に所属していましたが、実家が神社であることから神職課程を履修しました。文学部に所属しながら神職課程を履修するという事は、自分の所属する学科の専門科目に加え、神職資格に必要な科目を70単位以上修得しなければなりません。

私自身の経験から言えば、文学部所属の学生が神職課程を履修することで学び得られることや経験は本当にかげがえのないものです。文学部で古典や歴史を学ぶにおいて、当時の時代背景や宗教文化の理解は不可欠です。神職課程の授業では、神道の視点や立場から様々なことを学ぶことができます。私も日本文学科の学生として神道を学んでみて、大変というよりも、寧ろ、有意義で濃密な4年間だったと実感しています。

國學院大學図書館

質・量ともに「より使いやすい」図書館

明治15(1882)年の創立以来、本学図書館は長きにわたって神道・国史・国文・国法関係を中心に、広く文献資料の収集を続けています。その結果、現在では160万冊以上の蔵書数を誇り、人文科学研究における日本屈指の図書館として知られています。

学術メディアセンター棟には、180万冊収蔵可能な広大なスペースを確保。文献を自由に手に取って見ることができる開架書庫(2階)や自動書庫(地下2階)システムを導入しており、資料調査に要する時間が短縮できます。さらに、自然光を取り入れた閲覧スペースや、勉強会・研究会などの活動に利用できるグループ学習室を3室設置するなど、研究教育環境のより一層の整備・効率化を進めました。図書館や資料室・研究室などの所蔵資料を蔵書検索システム「K-aiser」(カイザー)で検索できるほか、貴重な資料やコレクションは「図書館デジタルライブラリー」で閲覧することができます。



國學院大學図書館(渋谷)

國學院大學博物館

日本のモノと心を知る大学ミュージアム

國學院大學博物館は、大学が有する数々の学術資料や研究成果を公開する施設です。そのはじめは、1928年創設の考古学標本室に遡ります。約10万点の資料を収蔵し、うち約2000点を常時展示しています。

広さ500坪程の展示エリアは、縄文土器や埴輪などを展示する「考古学エリア」、神社や祭祀に関連する資料を展示する「神道エリア」、そして、大学の歴史や有栖川宮家ゆかりの資料を公開する「校史エリア」の3つの常設展と企画展示室に分かれています。企画展示室では、年間を通して様々なテーマで企画展や特別展を開催し、日本の歴史や文化に関する最新の研究に気軽に触れていただける場所となっています。

この他、各種の教育普及事業、外部機関との連携などを通して、社会に開かれた大学の窓口としての役割も担っています。



國學院大學大学院

伝統と実績を誇る歴史ある大学院。優秀な研究者と高度な専門職業人の育成に努めます。

國學院大學大学院からのご案内

文学研究科は、日本文化の真髄を理解し、かつ幅広い知識を持つことで、新しい価値観を創造し、人類文化の発展に寄与できる優れた研究者や専門的業務に従事する者の養成を目的としています。

長い歴史を持つ3つの専攻は神道学・宗教学専攻、文学専攻、史学専攻です。専門性の高い、充実したカリキュラムを整え、図書館や博物館などの豊富な資料も活用した教育研究も特徴です。さらに、文部科学省が推進する複数の研究プログラムへの採択や、他の大学院との単位互換、学部生の大学院科目先取り履修制度の導入、大学院奨学金制度の改革、入試制度の改革、博士学位取得者への出版助成など、常に前進しながら発展しております。



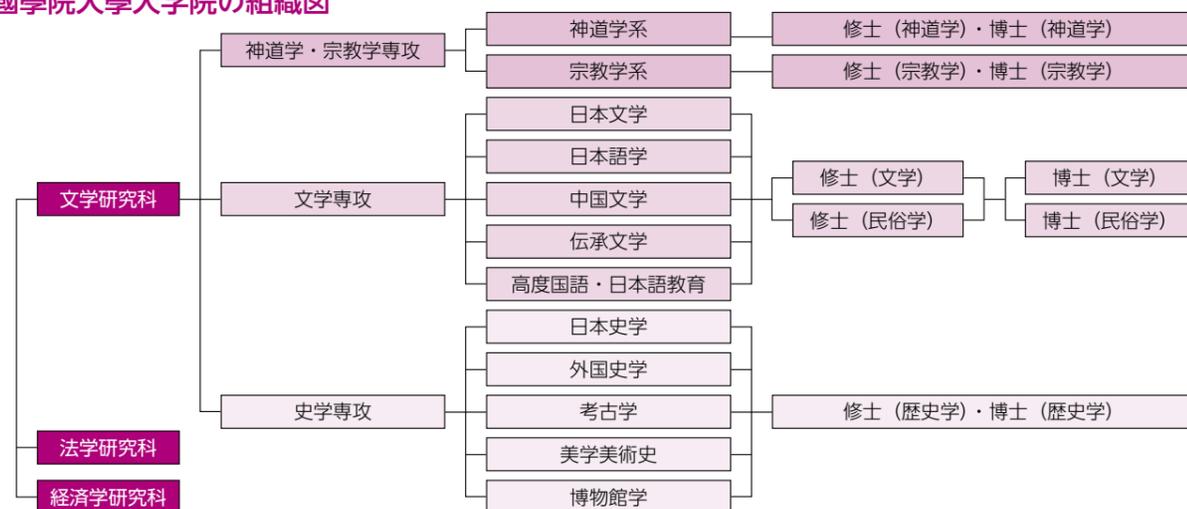
大学院文学研究科委員長からのメッセージ

研究者・専門職をめざしているみなさんへ

大学院文学研究科委員長 佐藤 長門教授 (博士 歴史学)

大学院文学研究科には神道学・宗教学、文学、史学の3専攻がおかれ、毎年10名前後の学位(博士号)取得者を輩出し、多くのOB・OGたちが全国の大学や研究機関などで学究生活を送っています。かくいう私も、本学大学院出身者の末席につらなるひとりです。奨学金も充実しているので、研究者や専門職をめざしているみなさんは、ぜひ大学院進学を検討してみてくださいはいかがでしょうか。

國學院大學大学院の組織図



■学位の取得

博士課程前期(修士)の標準在学期間は2年で、30単位以上を修得し、修士論文または特定の課題についての研究成果(リサーチ・ペーパー)の審査に合格すれば「修士」の学位が授与されます。博士課程後期の標準在学期間は3年で、12単位以上を修得し、博士論文の審査および試験に合格すれば「博士(課程博士)」の学位が授与されます。

■修了後の進路

各研究科で人材養成の目的が明確になっており、各自の専門分野を活かした就職を目指して、研究活動への真摯な取り組みと意欲が結果につながっています。また、後期課程進学や特別研究生として研究を継続する学生も見られます。

◆文学研究科の主な就職分野

教員(大学、高校、中学)、研究員(研究機関・財団)、公務員、学芸員(各種博物館)、神社界、非営利団体、出版など

■修士論文・博士論文の題目(例)

【神道学・宗教学専攻】

竹内式部の実践神学と宝暦事件(博士学位授与)
中世的な勤農祭祀の成立と社会背景(修士学位授与)

【文学専攻】

平仮名成立史の研究(博士学位授与)
『伊勢物語』における『万葉集』類歌の研究(修士学位授与)
日本語の無標可能表現の用法に関する研究(修士学位授与)
話し言葉における接続助詞「けど」類の使用実態とその分析(修士学位授与)

【史学専攻】

近世後期における江戸相撲社会と渡世集団(博士学位授与)
中国博物館学の歴史的研究—関係法規史を含めて—(博士学位授与)
大蔵省の人事・組織と政治(修士学位授与)
豊臣政権の奉行人組織と蔵入地支配(修士学位授与)

体験授業の受講と大学院授業の感想

大学院に興味を持つ学部生が大学院の学びに触れることを通して、研究の楽しさや深さを実感してもらい、大学院への進学に結び付けたいという主旨にて令和3年度より体験授業(本学学部生対象)を実施しました。

■体験授業科目

- 神道思想史研究B(講義)
 - 日本中古文学研究BⅡ(演習)
 - 民俗学研究BⅠ(演習)
 - 日本古代史研究BⅠ(演習)
 - 美術史研究BⅡ(演習)
- ※上記は一部抜粋です。その他多数の科目があります

学生の声

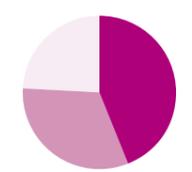
Q 体験授業受講のきっかけは何ですか?

- ・大学院に興味があったため
- ・面白そうだったから

Q 体験授業を受講した感想など

- ・難しい内容だが、大学院の雰囲気を感じつつ楽しく受講した
- ・大学院の雰囲気を感じ取れて大きな収穫だった
- ・皆さんがあたたかく迎えてくださって正直にホッとした
- ・思考方法や問題の立て方も学べておおいに刺激となった

受講後、大学院研究科への進学意欲について



國學院大學大学院の奨学金制度

【國學院大學大学院奨学金制度(給付)】

本学独自の奨学金制度です。令和2年度から、経済支援型と学業奨励型の奨学金として、新しい奨学金制度が導入されます。詳細は、制度が決まり次第告知いたします。

【協定留学及び認定留学奨学金(給付)】

海外の大学へ協定留学又は認定留学を行う大学院生に対し、学業を奨励し、留学期間が2学期間の者には40万円を、1学期間の者には20万円を支給します。

【日本学生支援機構奨学金(貸与)】

第1種(無利子)

前期課程:月額55,000円・88,000円から選択
後期課程:月額80,000円・122,000円から選択

第2種(有利子)

月額50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から選択

※このほか経済的な負担を軽減し、学業奨励を目的とした奨学金制度があります

國學院大學の出版助成

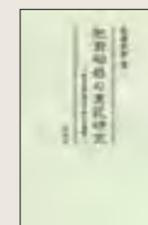
本大学院で課程博士の学位を得た論文のうち刊行するに相当と認められた研究論文について、大学がその費用の一部を助成する制度です。この制度には若手研究者支援を行うこと、また、書籍出版という高い目標による質の高い研究活動(博士論文執筆)の促進も意図しています。

助成受給者からのメッセージ

國學院大學 兼任講師 松浦 里彩さん (令和2年3月21日 博士(歴史学)学位授与)

【修了年度】平成30年3月31日 國學院大學大学院文学研究科 博士後期課程史学専攻 所定単位修得退学(平成30年4月~令和2年3月 國學院大學大学院文学研究科特別研究生として在籍)

進学を考えはじめたのは、本学で日本史学を専攻しながら美学・芸術学の科目も受講していた大学3年生の頃。研究職や大学教員に興味をもったことがきっかけです。卒業論文のテーマでもあった伊万里焼の研究を深めるため、大学院では美学美術史コースに所属し、肥前磁器の意匠研究に取り組んできました。やきものの意匠はとても豊かで、国をも越える美術や文化の広いつながりを実感できる点も魅力的です。本学の兼任講師となった今も自身の研究を続けています。今回、出版助成をいただき、これまで取り組んできた研究の成果を一冊の本という形にする機会をいただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。



■書籍基本情報

【肥前磁器の意匠研究—柿右衛門様式の成立と展開—】
(株式会社同成社 2022年3月下旬)

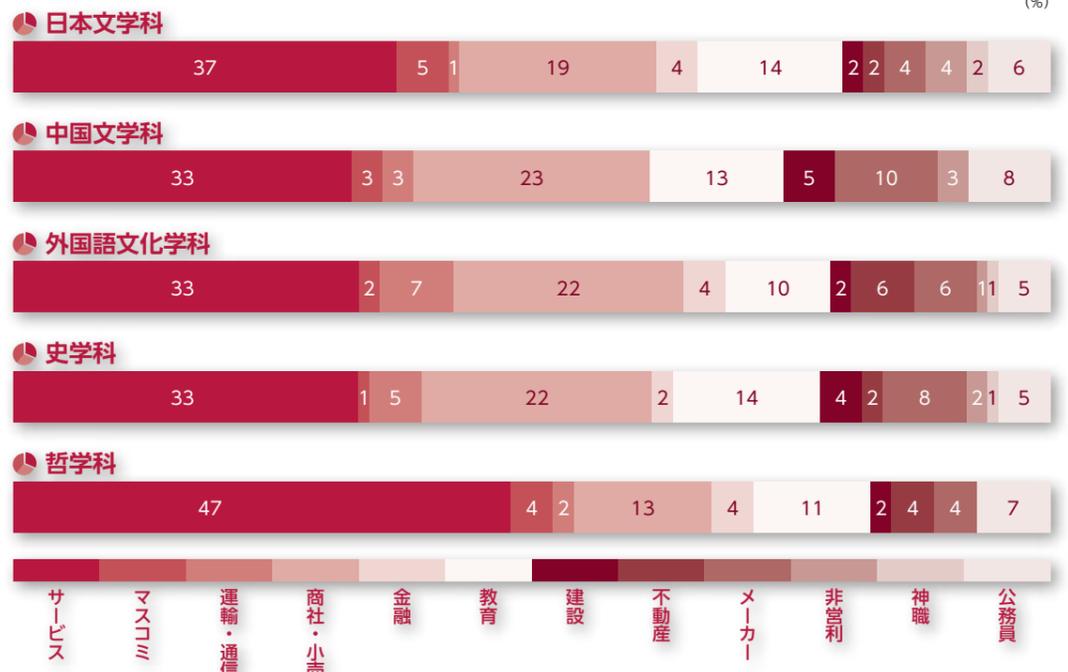
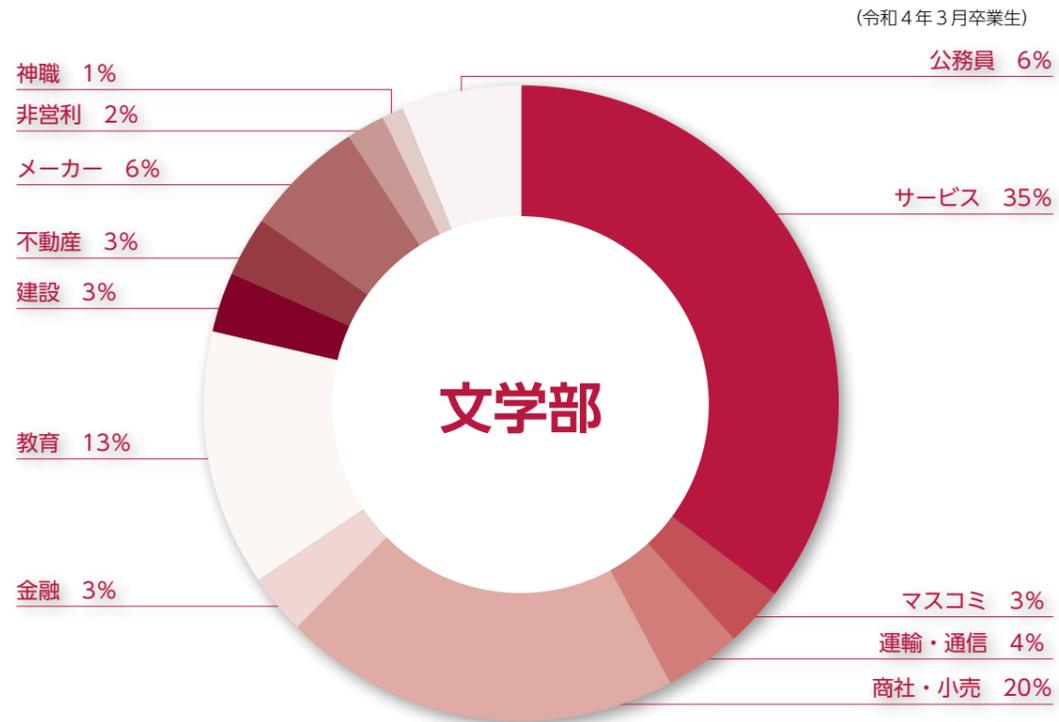
【内容】肥前磁器の中でも17世紀後期の延宝期を中心に展開した作風について、文様の描法および配置方法の分析からその構成要素や成立背景の解明を試みる。

■出版助成名称 國學院大學課程博士論文出版助成金

■受給年度 令和3年度



【資料請求・お問い合わせ】國學院大學大学院事務課 ☎03-5466-0142 ✉daigakuin-j@kokugakuin.ac.jp



※小数点以下を四捨五入しております

- サービス**
- エヌ・ティ・ティ・データ
 - NTT東日本-関信越
 - オリックスレンテック
 - コナミデジタルエンタテインメント
 - 東京瓦斯 (東京ガス)
 - 日本赤十字社
 - 日本郵便
 - プリンスホテル
 - マイナビ
 - 楽天
- マスコミ**
- 岩手朝日テレビ
 - サイバーエージェント
 - 産業経済新聞社
 - 日本放送協会 (NHK)
 - リクルート
- 運輸・通信・旅行**
- ANAエアポートサービス
 - ANA成田エアポートサービス
 - 近畿日本ツーリスト
 - 近鉄エクスプレス
 - 京王電鉄
 - 京浜急行電鉄
 - KDDI
 - JTB

- JALカーゴサービス
- JALスカイ
- 鈴興
- 西武鉄道
- 全日本空輸 (ANA)
- ソフトバンク
- 東海旅客鉄道 (JR東海)
- 東京地下鉄 (東京メトロ)
- 日本航空 (JAL)
- 日本通運
- 東日本旅客鉄道 (JR東日本)
- 北海道旅客鉄道 (JR北海道)
- 郵船ロジスティクス
- 商社・小売**
- アンファー
- イオンリテール
- 伊藤忠食品
- 紀伊國屋書店
- コニカミノルタジャパン
- セブン-イレブン・ジャパン
- そごう・西武
- ソニーマーケティング
- ダイソン
- 東急百貨店
- トーハン
- ニトリホールディングス
- 日本アクセス
- 日本液炭

- 日本出版販売
- ファーストリテイリング
- ファミリーマート
- 三井食品
- 三越伊勢丹
- 三菱食品
- 金融**
- あいおいニッセイ同和損害保険
- 青森銀行
- SMB C日興証券
- 鹿児島銀行
- 群馬銀行
- 静岡銀行
- 住友生命保険
- 第一生命保険
- 大和証券
- 千葉銀行
- 中央労働金庫
- 日本生命保険
- 野村證券
- みずほ証券
- みずほフィナンシャルグループ
- 三井住友銀行
- 三菱UFJ銀行
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- 明治安田生命保険
- 横浜銀行
- りそなホールディングス

- 建設・不動産**
- 関電工
- 清水建設
- 積水ハウス
- 大成建設
- 東亜道路工業
- 東急建設
- 東急リパブル
- 松井建設
- メーカー**
- アイリスオーヤマ
- 岩下食品
- 沖電気工業
- カゴメ
- グンゼ
- コーセー
- 資生堂
- スズキ
- 住友化学
- 住友電装
- 大日本印刷
- 太平洋セメント
- 大陽日酸
- 田辺三菱製薬
- ツムラ
- THK
- 帝国書院

- 凸版印刷
- 日本製鉄
- 日本ビクター・パッカード
- 日立金属
- 富士通ゼネラル
- ブリヂストン
- ブルボン
- 三菱自動車工業
- 三菱電機
- 横浜ゴム
- ヨネックス
- 非営利・神社**
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 独立行政法人自動車事故対策機構
- 独立行政法人地域医療機能推進機構
- 独立行政法人水資源機構
- 全国農業協同組合連合会
- 國學院大学生生活協同組合
- 神社本庁
- 大國魂神社
- 靖國神社
- 国家公務員**
- 関東信越国税局
- 経済産業省
- 皇宮警察本部
- 国土交通省
- 東京高等裁判所

- 東京国税局
- 東京出入国在留管理局
- 独立行政法人国立印刷局
- 防衛医科大学校
- 防衛省海上自衛隊
- 防衛省航空自衛隊
- 防衛省陸上自衛隊
- 宮崎労働基準監督署
- 横浜地方検察庁
- 地方公務員**
- 茨城県庁
- 神奈川県庁
- 群馬県庁
- 埼玉県庁
- 島根県庁
- 千葉県庁
- 東京都庁
- 栃木県庁
- 北海道庁
- 足立区役所
- 荒川区役所
- 板橋区役所
- 江戸川区役所
- 大田区役所
- 葛飾区役所
- 京都市役所
- 甲府市役所
- さいたま市役所

- 品川区役所
- 渋谷区役所
- 新宿区役所
- 墨田区役所
- 世田谷区役所
- 千葉市役所
- 中野区役所
- 練馬区役所
- 目黒区役所
- 盛岡市役所
- 横浜市役所
- 特別区競馬組合
- 練馬区立練馬図書館
- 教員**
- 愛知県公立中学校・高等学校
- 青森県公立小学校
- 茨城県公立中学校・高等学校
- 神奈川県公立小学校・中学校・高等学校
- 岐阜県公立高等学校
- 群馬県公立中学校・高等学校
- 埼玉県公立小学校・中学校・高等学校
- 佐賀県公立中学校
- 静岡県公立中学校・高等学校
- 千葉県公立小学校・中学校・高等学校
- 東京都公立小学校・中学校・高等学校
- 栃木県公立中学校・高等学校

- 富山県立中学校
- 長野県公立小学校・中学校・高等学校
- 新潟県公立高等学校
- 福岡県立中学校
- 福島県立中学校
- 北海道公立小学校・中学校・高等学校
- 宮城県公立中学校・高等学校
- 山形県立高等学校
- 山梨県立高等学校
- 國學院大學久我山中学高等学校
- 進学先**
- 青山学院大学大学院
- お茶の水女子大学大学院
- 学習院大学大学院
- 京都大学大学院
- 國學院大學大学院
- 千葉大学大学院
- 東京学芸大学大学院
- 東京大学大学院
- 東北大学大学院
- 一橋大学大学院
- 明治大学大学院
- 立教大学大学院
- 立命館大学大学院
- 早稲田大学大学院

(平成30年3月~令和4年3月卒業生)

「日本を学び世界を知る」には、世界の知識を身に付けるだけでなく、異文化と触れ合う経験が不可欠です。國學院大學は世界に広く扉を開いており、異文化に直接触れて体感するさまざまなサポートを行っています。

國學院から世界へ

夏期・春期短期留学(約1カ月)

夏、春の長期休暇を使って、海外協定校での外国語集中プログラムに参加します。毎年計100人前後の学生が参加する留学入門プログラムです。

認定留学(1学期間～2学期間)

國學院大學に在籍しながら海外の大学に1学期間もしくは2学期間(1年間)留学し、海外で習得した単位を、本学の単位として認定する制度です。

協定留学(1学期間～2学期間)

交換留学生として海外協定校へ1学期間または2学期間派遣される制度です。留学先の一般学生と同じ授業に参加することを原則とするこの制度を通じて、グローバルな視点から日本文化を相対化して位置付け、世界に発信できるような人材の育成を目指します。

セメスター留学(1学期間)

協定校への1学期間の留学プログラムです。より高いレベルでの語学力習得と、文化理解を目的とします。令和4年度の留学先は、英語圏はミズーリ大学(米国)、マニトバ大学(カナダ)、クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド)、ヨーク・セント・ジョン大学(英国)、中国語圏は復旦大学(中国)、国立台湾師範大学(台湾)を予定しています。いずれも全学部学科の学生が対象です。

セメスター留学：米国・ミズーリ大学



堀田莉加 外国語文化学科

4か月のセメスター留学は、短いようで、私にとって人生の転機となりました。私は留学当初にまず「日本語を使わない」ことを目標にし、外国人と行動をし、先生に一对一の会話タイムを設けてもらうなど、英語しか使えない環境作りを徹底しました。この経験は、英語力の大幅な向上だけでなく、私を消極的な性格から積極的に行動的に変えました。4か月の留学は、なんとなく受け身で過ごしてはとて短い期間です。しかし逆に、自分の過ごし方次第で十分に成長できる期間だと思います。英語力向上や特別な経験、自分の短所の改善を望む人は、ぜひセメスター留学に挑戦してみてください！中でもミズーリ大学は、日本人が少なく、また外国人クラスメイトとの寮生活なので、留学に最適な環境です。

セメスター留学：中国・復旦大学



橋爪友祐 中国文学科

私はセメスター留学に参加して本当に良かったなと思います。中国語を学べるのはもちろん、他国の文化や伝統、価値観など様々な事を学べたからです。私はバスケットボールが好きで、現地でもサークルに所属していました。そこでは様々な国の人がいて、週2日練習があり、週末に試合があるという感じでした。初めはなかなか思っている事が伝わらず苦労しましたが、バスケットは世界共通なので、日々プレーしていくうちにコミュニケーションが取れるようになって、様々な国の人たちと交流を深めることが実感でき、とてもいい経験ができました。

私にとって留学の4か月は、終わってみると本当にあっという間でした。語学学習にとどまらず、この期間をいかに有効に使うかが本当に大事だと思います。慣れるまでは大変でも、帰って来た時には必ず「行って良かった！」と思えるはず。せっかく貴重な経験をしているので、積極的に外に出て多くの人たちと交流する事を心がけてみてください。それがきっと語学上達の鍵だと思われ、自分次第でどこまでも充実した時間になると思います。自分から積極的に話しかけたりして、行動することが自分を成長させてくれると思うので、是非セメスター留学に参加して多くの事を学んで自分のこれからの糧にしてほしいと思います。留学中にできた友達は今でも交流があるかけがえのない友達です！

協定留学：中国・復旦大学



三井ゆり 中国文学科

留学では授業や学修をきっかけに現地の学生と知り合い交流し、人々の日常とそこに息づく文化を自ら体験することによって、机に向かう勉強だけでは学べない現代中国のリアルな姿を知ることができます。私はそうした文化や中国語を学ぶだけでなく、中国語で自分の専攻や興味のある分野の知識を深めたいと思い、協定留学を選びました。

留学先では自分で授業を選択して、現地の一般学生と共に専門性の高い授業を受けます。私の場合、民俗文化や現代中国について興味があったので、留学中は文学の領域に限らず様々な授業を受けていました。留学してすぐは聞き取れない授業も多かったのですが、徐々に理解できるようになり、自分が興味のある分野について新たな知識を得られる喜びも深まっていききました。それをモチベーションに勉強を頑張ることができました。

今までの語学の学修からさらに一歩進み、様々な分野の知識を深められました。そして、単身海外へ渡り何事も自力で乗り越えて、精神的にも大きく成長できた一年でした。一人で臨んだ協定留学だからこそ、得られた経験です。

セメスター留学：ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学



安藤まつり 外国語文化学科

「あっという間だった。」皆が声を揃えて言った言葉だ。私が行ったクライストチャーチは、東京の雰囲気とは全く異なり、自然豊かで静かな街だった。またクラスには多国籍の生徒が集まり、常に違う価値観の中で生活をした。何もかもが新鮮で毎日が本当に充実していた。

私はこの留学で、今何をすべきなのか、なぜこの行動をするのか、毎日自分に問いかけながら生活する大切さを学んだ。一瞬で過ぎ行く新鮮な日々を、無駄なく吸収する為には、目的意識が非常に重要だったのだ。

英語の向上を目的とした留学だったが、自分という人間を大きな枠で捉え、客観的に見つめ直すことができる最高の機会だった。考え次第で、物事は大きく変わる。あっという間の時間をどう過ごすのか、今一度深く考えていこうと思う。

留学生との交流

國學院大學では、学部、大学院、交換留学生合わせて約100人の留学生が学んでいます。交換留学生の生活・日本語学修支援、勉強会、訪問授業や料理教室など各種イベントを通じ、交流を深めることができます。

外国人研究者の学術交流

日本文化・社会に関連する分野の研究者が世界各国から招聘され、國學院大學で研究成果を挙げています。また、キャンパスでは外国人研究者を招いてのシンポジウムなども行われています。

交換留学生の受け入れ

國學院大學では協定校から毎年20人程度の交換留学生を受け入れています。K-STEP(Kokugakuin Short-Term Exchange Program)は交換留学生向けプログラムで、日本文化・社会を英語で学ぶ科目では一般の学部生と共に学んでいます。

世界から國學院へ

短期留学：中国・復旦大学



飯塚絵美 外国語文化学科

私は2年次の春期休暇に中国の上海にある復旦大学に短期留学をしました。2年間大学で中国語を勉強する中で、現地で中国語を学んでみたいという思いが強くなり、短期留学に参加しました。留学で最も苦労した点はリスニングです。授業は全て中国語で行われましたが、初めは全く聞き取ることができませんでした。

また生活する中でも、相手の言っていることが理解できずコミュニケーションがうまく取れないということも多々ありました。そのため授業では聞くことに重点を置き、分からないことは積極的に中国語で質問をしました。すると徐々に相手は何を言っているのか聞き取れるようになり、とてもうれしかったです。1ヶ月という短い期間でしたが、日本で勉強している時には感じることのできない喜びや発見があり、とても良い経験になりました。

短期留学：カナダ・マニトバ大学



中村万里渚 外国語文化学科

外国の文化を身近に感じたい!と思い、夏季休暇の留学に参加しました。私が行ったカナダの短期留学プログラムはホームステイでしたので生活習慣や、日常の英会話をより身近に感じる事ができました。現地の学校では授業だけでなく様々なアクティビティがあったので、英語だけでなく、人々との交流の中からも学ぶことが多くありました。二週目に行ったPEIの小旅行では動物とふれあったり、夜空いっぱい埋め尽くされた星を見たりと、今まで見たこと、感じたことのない大自然に感動しました。

たった1ヶ月という短い期間でしたが、この留学を通して、英語を話す・聞くことに対する抵抗をなくすることができました。また、カナダの文化を知るとともに、改めて日本の文化の素晴らしさに気づき、誇りに思えました。

総合学修館(6号館)・みちのきち

キャンパス内のできる国際交流

本学には、キャンパス内のできる国際交流の機会がたくさんあります。國學院大學に世界中から集まる留学生を支援するK-STEPアシスタントに登録すれば、留学生の日常生活をサポートするだけでなく、さまざまな交流会で外国人の友だちを作ったり、留学生と共に日本文化について学ぶことができます。

また、渋谷キャンパス総合学修館(6号館)には、多くの自習スペースと共に「みちのきち」が併設されています。みちのきちでは異文化・グローバルをテーマにした400冊以上の本を手にとることができ、本を通して世界を旅し、異なる文化や価値観に触れることができます。留学生と共に学び、様々な価値観の本に触れ、多様性を高め合える学修スペースとなっています。



國學院大學奨学金制度について

國學院大學では独自の奨学金として、勉学への熱意を経済面から支援するとともに、自ら多面的な能力、可能性を伸ばし、夢の実現に向けて学業に専念できるよう、目的に応じた各種奨学金制度を用意しています。令和4年度現在、20種を超える奨学金制度があり、すべて返還の必要がない「給付型」です。その中のいくつかをご紹介します。詳細は、大学公式HP（受験生の方）入試情報・学費（学費・奨学金）、また入学後に実施されるガイダンス等でご確認ください。

I. 学業奨励支援

特に優れた学業成績を修めた者を表彰し、さらにその能力を伸ばし勉学を奨励することを目的とする制度です。

● 國學院大學成績優秀者奨学金制度

【対象】 学部学生2年生以上

II. 修学経済支援

向学心と勉学への熱意を持ちながら、経済的理由で修学が困難な学生に対して、学費の負担を減らし、学業の継続を支援する制度です。

● 大規模災害学費減免制度

【対象】 大規模災害により被災し、修学が困難になった学部学生1～4年生で日本学生支援機構奨学金の受給者または採用予定者

● 特例給費奨学金

【対象】 入学後、家計支持者の経済状況が急変した学部学生1～4年生

● 國學院大學若木育成会学費等支援制度

【対象】 入学後、家計支持者の死亡により家計が急変した学部学生1～4年生

● ふるさと奨学金（V. 特定寄付金による支援）

【対象】 家計が困窮している地方出身者（1都3県を除く）であり、自宅外通学者かつ学業成績良好な者

● カピー奨学金（V. 特定寄付金による支援）

【対象】 向学心があり経済的理由により修学が困難な者。学部学生1～4年生

● 教育ローン利子補給制度

【対象】 本学入学の際及び在学中に教育ローンを借り入れた世帯の学部学生1～4年生

III. 海外活動支援

國學院大學と協定を結ぶ海外の大学への留学を希望する学生に対して、経済的負担を減らし、支援する制度です。

● 國學院大學協定留学奨学金制度

【対象】 協定留学に参加する者

● 國學院大學協定留学「標」奨学金制度

【対象】 2学期間の協定留学を國學院大學より許可され、留学先大学への留学手続きを完了した学部学生のうち、特に優秀と認められた者

● 國學院大學認定留学奨学金制度

【対象】 本学が実施する認定留学に参加する者

● 國學院大學認定留学天翔奨学金制度

【対象】 本学が実施する2学期間の認定留学に参加する学部学生のうち、特に優秀と認められた者

● 國學院大學セメスター留学助成金制度

【対象】 セメスター留学に参加する者

● 國學院大學セメスター留学学習奨励金制度

【対象】 セメスター留学において優れた学修成果を取めた者

● 國學院大學短期留学グローバル・チャレンジ奨学金制度

【対象】 本学が実施する短期留学プログラムに参加する学部学生のうち、優れた学修成果を取めた者

IV. 進路支援

各試験に向けた準備のため、本学が指定した講座（セミナー）に参加した学生に対して、講座等の受講費を支援する制度です。

● 教員採用候補者選考試験支援奨学金制度 → P.44参照

● 国家公務員採用総合職試験支援奨学金制度

【対象】 学部学生2年生後期に実施する選考試験を受験し、本学指定の外部セミナー等を指定した期間を通して受講できる者

● 公認会計士試験支援奨学金制度

【対象】 日商簿記検定2級に合格にした者、または日商簿記検定2級相当の実力があると認められた者で、学部学生1年生後期に実施する選考試験に合格し、本学指定の外部セミナー等を指定された期間を通して受講できる者

V. 特定寄付金による支援

本学の元教員、卒業生、元職員、学生のご遺族の寄付金により制定され、目的に応じて給付される制度

ボランティア・学内ワークスタディ

ボランティアステーション

ボランティアステーションでは、國學院大學が企画・運営するボランティア活動への支援、学外のボランティア団体のボランティア情報の紹介、大学の事業・業務に学生スタッフとして参画する「学内ワークスタディ」情報の発信を主として行っています。また、ボランティア活動をしたという学生に対しての相談も受け付けています。

ボランティアに興味がある方、ボランティア活動をしてみたいという方、気軽に相談に来てください。



学生アドバイザー

私たち学生アドバイザーは、「在学生の視点から國學院大學の魅力を受験生に伝えていくこと」を目的に活動している、学生団体です。主な活動としては、①オープンキャンパスの企画・運営 ②キャンパス見学会でのツアーコンダクター ③SNSの運用 ④その他大学イベントの補助業務などが挙げられます。1人でも多くの受験生に、國學院大學のファンになってもらえるよう、日々の学生生活での出来事や、自分自身が受験生だった頃の体験談を活かして、活動に励んでいます！

学生アドバイザーの活動を通じて、「様々な学部・学科の仲間と共に、國學院大學の魅力伝えてみたい！」という思いを持ってくださった方は、渋谷キャンパス・若木タワー1Fの入学課までお問い合わせください。活動を通して、自分自身も新たな大学の魅力に気付くことができます！



エルダーサポーター

こんにちは！エルダーサポーターです。私たちは、入学式後のオリエンテーションや履修登録で、皆さんが「疑問に思うこと」や「不安（心配）に思うこと」を、これまでの経験を活かして、皆さんに近い「先輩」という立場からアドバイスやサポートを行うことを目的に活動しています。主な活動は、オリエンテーション期間中の皆さんのサポート、前期・後期履修登録期間までの基礎的な履修相談や大学生活相談などです。疑問に思ったことはどんなことでも良いので、一人で悩まず、気軽に相談してください。きっと解決すると思います。分からないことの多い新入生が気持ちよく大学生活を過ごせるように、皆さんの近くから全力でサポートすることを約束します！



その他の学内ワークスタディ

学生サポーター

障がいがある学生の学修支援を行います。障がい学生のニーズを受けてパソコンノートテイクや代筆、学内の移動補助など様々なサポートを行っています。

スチューデント・アシスタント(SA)

大人数教室において、担当教員が授業に専念できるように、教員に代わり、教材の印刷・配付、出席カードやコメントペーパーの配付・回収・並び替えなど授業補助を行います。

◆**國學院大學入試情報** 模擬授業などの体験型WEBコンテンツが盛りだくさん！
<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission> 

◆**國學院大學文学部** 文学部の魅力や教員情報なども満載！
<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters> 

◆**日本文学科** 日本の伝統文化や精神を体系的に学びます！
<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/dojl> 

上野誠の万葉エッセイ (上野誠先生)  <http://www.manyou.jp/> | 森敦文学研究の世界 (井上明芳先生)  https://www2.kokugakuin.ac.jp/i_wrks/ | 学術研究会・平家物語研究会 (顧問：野中哲照先生)  [〈Twitter〉 https://twitter.com/Heikeken1](https://twitter.com/Heikeken1)

◆**中国文学科** 中国古典の研究を介して国際感覚を身に付けよう！
<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/docl> 

◆**外国語文化学科** 外国の言語と文化を学び異文化と交流しよう！
<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/doflacs> 

◆**史学科** 歴史を読み解く力は様々な分野に活かされる！
<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/doh> 

博物館学研究室 <https://sites.google.com/view/kokugakuinmuseumstudy/> 

◆**哲学科** 古今東西の思想や芸術を考察し「考える」力を磨こう！
<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/dop> 

〈Facebook〉 <https://www.facebook.com/kokugakuinphilosophy>  | 〈Twitter〉 <https://twitter.com/kokugakuinphilo> 

國學院大學哲学科 / 哲学会 🔍 **で検索**

◆**國學院大學博物館オンラインミュージアム** お家でできるミュージアム体験！
http://museum.kokugakuin.ac.jp/event/detail/online_museum 

◆**國學院大學図書館デジタルライブラリー** 図書館所蔵の貴重書を公開中！
<https://opac.kokugakuin.ac.jp/digital/diglib.html> 

國學院大學 文学塾 第六期塾生募集

令和五年(2023)三月開講予定 **対象** 高校生 **会場** 國學院大學 渋谷キャンパス

日本文学

中国文学

外国文化

外国語・

歴史学

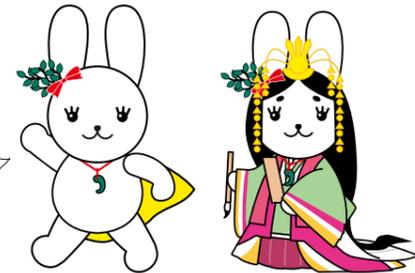
哲学

文学塾とは…

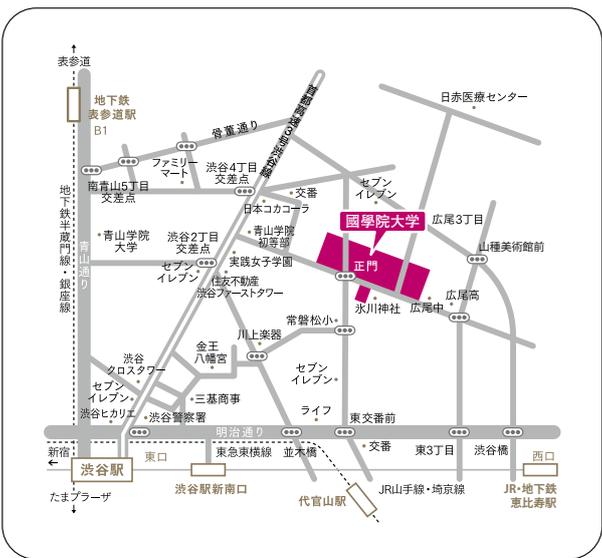
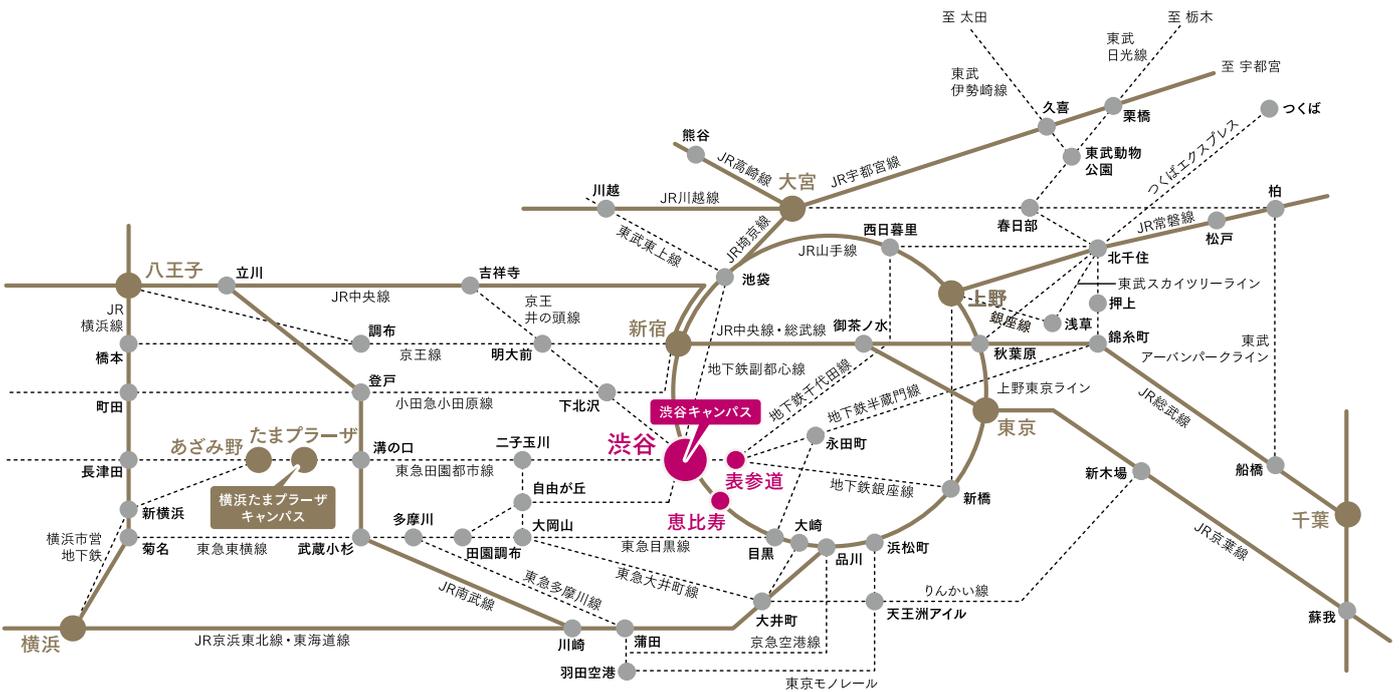
高校生のための新たな学びの場です。伝統ある國學院大學文学部ならではの専門性の高い内容で、知的好奇心の強い皆さんの期待に応えます。学問の最先端を、ぜひ体験してください。

詳細は令和4年秋にお知らせします！

大学のマスコットキャラクター**こくびょん**です！古事記の「因幡の白兔(稲羽之素菟)」にも登場するウサギがモチーフで、辮を耳に飾り、勾玉を首にかけています。右は文学部のオリジナルバージョンです。



交通案内



● 渋谷キャンパス

渋谷駅からのアクセス

- ▶ 渋谷駅 (JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線) ……徒歩約13分
- ▶ 渋谷駅 (JR埼京線・湘南新宿ライン) 新南口 ……徒歩約10分
- ▶ 都営バス (渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター前行) ……徒歩約10分
……………「国学院大学前」下車
(運賃180円・IC178円) 【渋谷駅から3番目の停留所、所要時間約10分】

表参道駅からのアクセス

- ▶ 表参道駅 (地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線) B1出口 ……徒歩約15分

恵比寿駅からのアクセス

- ▶ 恵比寿駅 (JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン・地下鉄日比谷線) ……徒歩約15分
- ▶ 都営バス (恵比寿駅西口ロータリー1番のりば 学06日赤医療センター前行) ……徒歩約10分
……………「東四丁目」下車
(運賃180円・IC178円) 【恵比寿駅から3番目の停留所、所要時間約10分】

お問い合わせ先

国学院大学文学部資料室

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

E-mail bun_siry@kokugakuin.ac.jp

国学院大学ホームページ

<https://www.kokugakuin.ac.jp/>

